

取扱説明書

屋内回転台

品番 **AW-PH400**

回転台コントローラー

品番 **AW-RP400N**

ケーブル補償器

品番 **AW-RC400N**

ロールユニット

品番 **AW-RL400G**

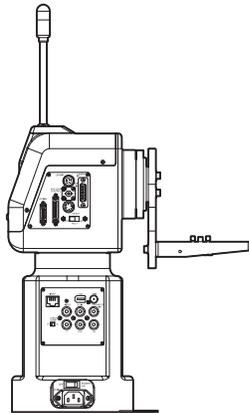
工事説明付き

AW-PH400

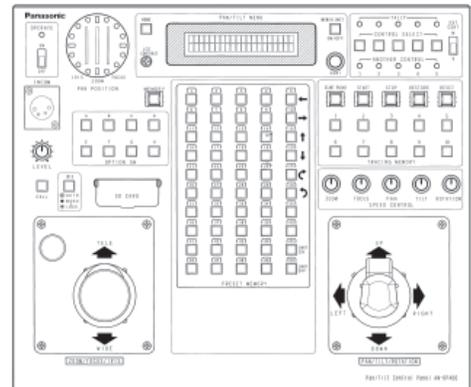
AW-RP400

AW-RC400

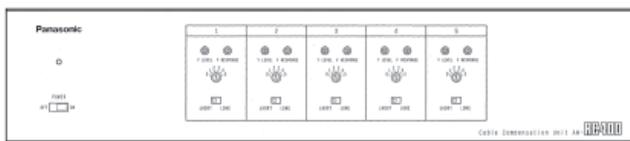
AW-RL400



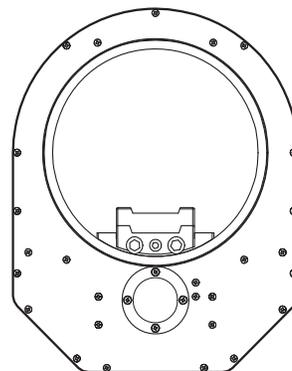
AW-PH400



AW-RP400



AW-RC400



AW-RL400

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～5ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

目次

安全上のご注意	3
使用上のお願い	6

屋内回転台 AW-PH400 7

概要	7
付属品	8
使用上のご注意	8
設置上のお願い	9
各部の名称とはたらき	10
取り付けかた	14
■回転台の組み立て	14
■設置方向スイッチの設定	16
■基板スイッチの設定	17
■回転台の取付条件	18
■お客様でご用意いただくもの	18
■回転台の設置	19
■カメラの取り付け（コンバーチブルカメラ）	23
■ワイヤーの付けかた（コンバーチブルカメラ）	24
■カメラの取り付け（マルチパーパスカメラ）	25
■ワイヤーの付けかた（マルチパーパスカメラ）	26
■搭載バランスについて	27
消耗品の交換	29
外形寸法図	30
定 格	31

回転台コントローラー AW-RP400 32

概要	32
付属品	32
各部の名称とはたらき	33
■前 面	33
■背 面	36
メニュー設定	38
■操作方法	38
■メニュー設定項目一覧	39
ラックマウントのしかた	43
コネクターパネルの位置の変えかた	44
ズームスイッチへの交換のしかた	45
消耗品の交換	46
定 格	47

ケーブル補償器 AW-RC400 48

概要	48
付属品	48
各部の名称とはたらき	49
ラックマウントのしかた	51
定 格	52

ロールユニット AW-RL400 53

概要	53
付属品	53
各部の名称とはたらき	54
取り付けかた	55
定 格	58

接続のしかた	59
システム構成例	61
操作の手順	62
保証とアフターサービス	裏表紙

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店へ依頼してください。

電源コードや接続コードに重いものを載せない



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。コードが傷ついて、火災や感電の原因になります。

付属品・オプションは、指定の製品を使用する



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こす原因になります。

本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない



禁止

本機内部にはいると、故障や事故を起こす原因になります。

機器の開口部から異物を差し込んだり、落とし込んだりしない



禁止

火災や感電の原因になります。

落下防止対策を施す



落下によるけがの原因となります。

- 落下防止用ワイヤーを必ず取り付けてください。

総質量に耐える場所に取り付ける



取り付け場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因となります。

- 十分な強度に補強してから取り付けてください。

指定のカバー以外は外さない



分解禁止

感電の原因になります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

機器が濡れたり、水が入らないようにする



火災や感電の原因になります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

水場で使用しない



火災や感電の原因になります。

水場使用禁止

電源コードが傷んだ場合は、交換を依頼する



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店にご相談ください。

電源コード・電源プラグが破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない



傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を落としたり破損した場合や、内部に異物や水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- お買い上げの販売店にご相談ください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、電源(プラグ)を抜く



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

電源プラグを抜く

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

本機を改造しない



火災や感電の原因になります。

分解禁止

電源プラグのほこりなどは、定期的にとる



プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、電源スイッチを切り、バッテリーを外す！



そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で定格を越えると、発熱による火災の原因になります。

禁止

電源プラグは、根元まで確実に差し込む



火災や感電の原因になります。
傷んだプラグやゆるんだコンセントのまま使用しないでください。

ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない



感電の原因になる恐れがあります。

ぬれ手禁止

⚠ 注意

<p>電源コードを熱器具に近づけない</p> <p> コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p>	<p>本機の上に重い物を置かない</p> <p> バランスがくずれて落下し、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>プラグやコネクターを抜くときは、コードを引っ張らない</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <p>●必ずプラグやコネクターを持って抜いてください。</p>	<p>本機の通風孔をふさがない</p> <p> 内部に熱がこもり、火災の原因になる恐れがあります。</p> <p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none">●風通しの悪い所に押し込まないでください。●テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください。	<p>本機に乗らない</p> <p> 倒れたり壊れたりして、けがをする恐れがあります。</p> <p>禁止</p>
<p>移動させる場合は、電源スイッチを切り、プラグを抜き、外部の接続コードを外す</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になる恐れがあります。</p>	<p>お手入れの際は、電源スイッチを切り、電源（プラグ）を抜く</p> <p> 火災や感電の原因になる恐れがあります。</p> <p>電源プラグを抜く</p>	<p>1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を</p> <p> 本機の内部にほこりがたまったまま、使用すると、火災や故障の原因になる恐れがあります。</p>

使用上のお願い

●取り扱いには注意を

落としたり、強い衝撃を与えますと故障や事故の原因になります。

●ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

●この機器は、主電源コンセントの近くに設置し、簡単にプラグの抜き差しができる状態にしてください。

●屋外では使用しないでください。

●以下のような場所での設置および使用はできません。

- ・ 雪の落下が予想されるような場所（軒下なども含む）
- ・ プールなど、薬剤を使用する場所
- ・ 工場や厨房などの蒸気や油分の多い場所、および可燃性雰囲気中などの特殊環境の場所
- ・ 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- ・ 車輛や船舶など振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
- ・ 体育館などのスポーツ施設で使用する場合などで、ボールなどが直接ぶつかる場所

●お手入れは

乾いた布で拭いてください。汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を布にしみ込ませ、よく絞り、軽く拭いてください。

<お願い>

- ・ ベンジンやシンナーなど揮発性のものは使用しないでください。
- ・ 化学ぞうきんを使用するときは、その注意事項をよくお読みください。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*

法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

概要

- 上下 300°、水平 400°の回転ができる、据え付け型の屋内回転台です。
- 最速 90°/s の高速動作が可能です。
- 最大搭載質量は、8 kg です。
(プロンプター等を使用して最大搭載質量が 5 kg 以上になる場合には、搭載物に合わせて落下防止対策を施してください。)
- オプションのロールユニット AW-RL400 を使用すれば、カメラを回転させることも可能です。
- 最大 50 ポジションの撮影する位置と設定を、プリセットメモリーとして登録できます。

● キヤノン (株) 製 IAS、WAS、VAS レンズ、フジノン (株) 製 RD レンズを使用する場合

- レンズ本体の ZOOM/FOCUS 切替つまみは、必ずサーボ側に設定してください。
- 本機 AW-PH400 を起動すると、回転台コントローラー (AW-RP400) との通信が始まります。また、カメラの電源が入ると、レンズの起動処理が始まります。起動処理中、ズームは自動的に動作し、回転台コントローラー (AW-RP400) からの各制御ができません。(起動処理機能は、上記レンズのズームと AW-PH400 の電位差により AW-RP400 から制御しなくても、ズームが動作してしまう現象を回避するための機能です。)
- 起動処理完了後は、レンズのズームスピード調整ボリュームを調整しないでください。調整したい場合は、AW-PH400 の電源を切ってから行ってください。OFF せずに調整すると、プリセットメモリー/トレーシングメモリー再生時に、ZOOM が適切な動作をしません。
- レンズ本体の ZOOM シーズスイッチを操作すると、ZOOM が誤動作する事がありますので、操作しないでください。(起動処理機能によるもので、故障ではありません。)
- 搭載するレンズを替える場合は、プリセットメモリー/トレーシングメモリーを設定し直してください。そのままプリセットメモリー/トレーシングメモリーを使用すると、ズームが適切に動作しません。

- ご注意**
- 本機 AW-PH400 は、コントローラー (AW-RP301、AW-RP305、AW-RP501、AW-RP505) からはコントロールできません。
 - LENS I/F (2) 端子の定格電流は最大 500 mA です。
最大消費電流が 500 mA を超えるレンズは使用できません。レンズの最大消費電流については、レンズメーカーにお問い合わせください。
 - 本機のご使用を終え廃棄されるときは、環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。
 - 搭載するレンズにより、フォーカス等が逆方向に動作する場合があります。
正方向で使用したい場合は、回転台コントローラー (AW-RP400) の DIRECTION 設定を変更してください。(レンズの仕様によるもので、故障ではありません。)
 - オートフォーカスレンズを使用しない場合は、回転台コントローラー (AW-RP400) の AF ボタンは OFF でご使用ください。
ON にすると、FOCUS の制御ができなくなります。

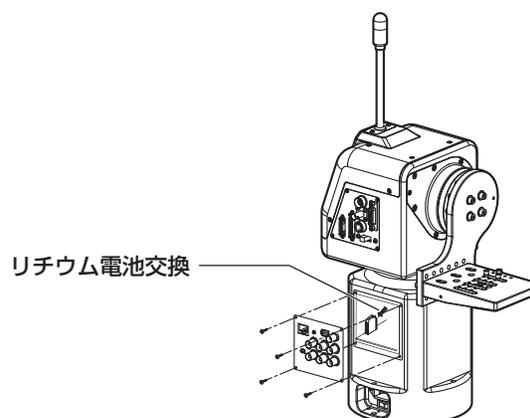
付属品

取扱説明書	1	ワイヤー取付ねじ (平ワッシャー／スプリングワッシャー付) M4×8 mm	1
回転アーム	1	六角レンチ	1
カメラ取付ベース	1	AC ケーブル.....	1
回転アームおよびカメラベース取付ねじ (平ワッシャー付) M5×22 mm.....	7	落下防止用ワイヤー	1
カメラケーブル	1		
タリーランプ	1		
タリー取付ねじ (M3×6 mm)	2		
タリー用ブランクパネル	1		

使用上のご注意

AW-PH400 には、二酸化マンガンリチウム電池 (CR2032) を使用しています。
本機を廃棄する場合や本機のプリント基板を廃棄する場合は、必ず電池を取り外してください。
取り外した電池は、必ず国内法規に従って、処分をしてください。

一般ゴミとして廃棄しないでください。
電池の取り外しかたについては、「消耗品の交換」の電池の交換の項目 (29 ページ) を参照してください。



設置上のお願い (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

お客様でご用意いただくもの

本機には、落下防止用ワイヤーを付属しています。

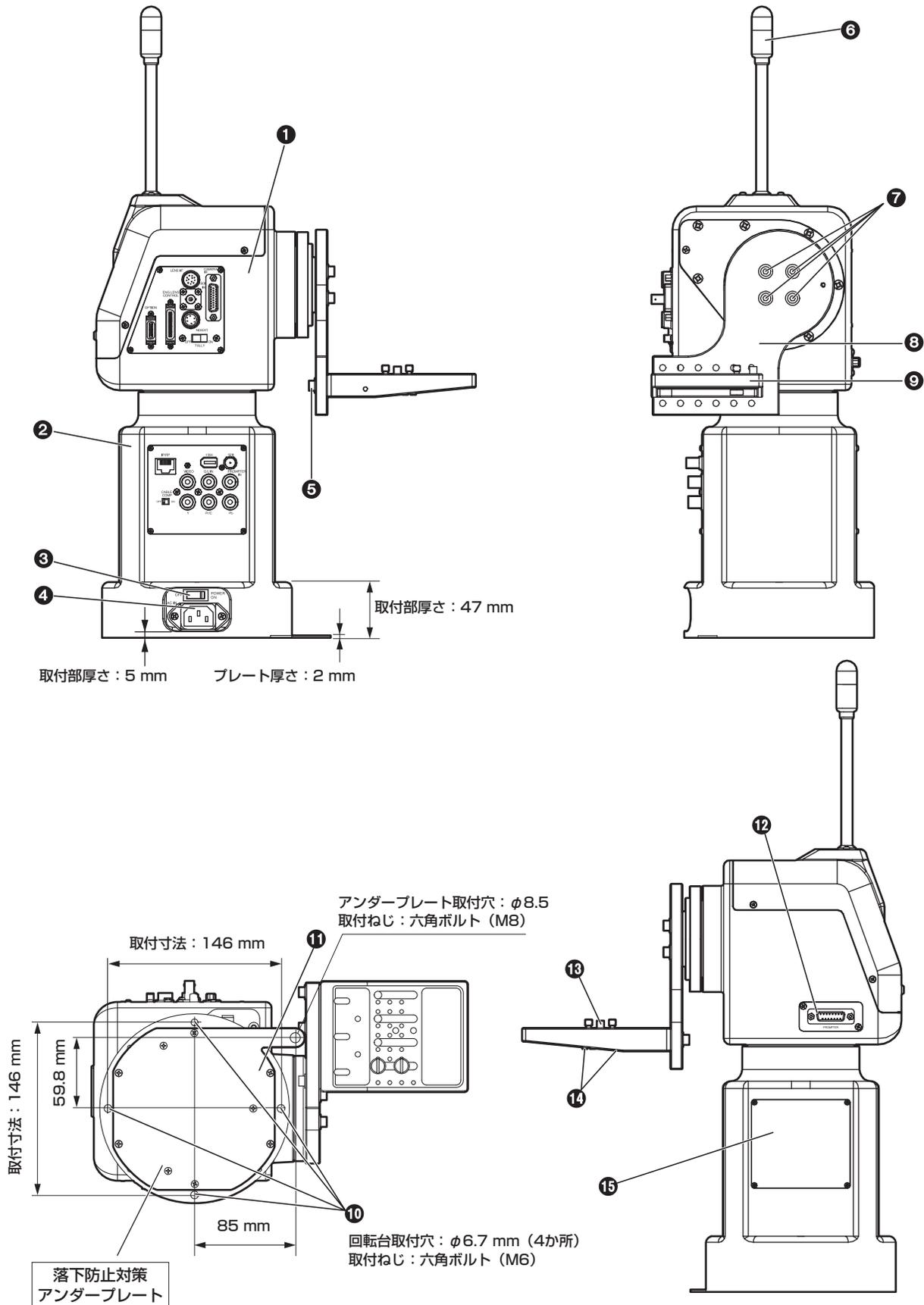
回転台の取り付けとアンダープレートの取り付けのために、下記のものをご用意ください。

- 埋め込みアンカー：5か所
(M6用：4か所、M8用：1か所)
- 六角ボルトまたはナット (M6：回転台用)：各4個
(長いボルト × 3、短いボルト × 1)
- 六角ボルトまたはナット (M8：アンダープレート用)：各1個
- 平ワッシャー (M6)：4個
- 平ワッシャー (M8)：1個
- スプリングワッシャー (M6)：4個
- スプリングワッシャー (M8)：1個

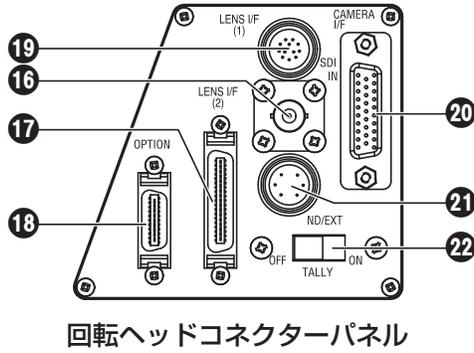
詳しくは、18 ページを参照してください。

- 必ずアンカーまたは吊り金具を使用して設置してください。
- 回転台の取り付けは、1か所あたり780 N (80 kgf) 以上の引き抜き強度が必要になります。
アンカーまたは吊り金具は、この引き抜き強度の5倍以上を確保できるように施工してください。
- 設置の際は、回転台本体の取り付け (4か所) と落下防止対策アンダープレートの取り付け (1か所) を必ず行ってください。
- 横向きでの設置はおやめください。
- 回転台の設置が完了してから、カメラを回転台に取り付けてください。
- プロンプター等を含めて搭載する場合の最大搭載質量は8 kgです。その際には販売店にご相談いただき、必ず搭載物に合わせた落下防止対策をしてください。
(この場合は、付属の落下防止用ワイヤーは使用しないでください。)
- カメラとレンズを搭載する場合には、最大搭載質量を5 kg以下にしてください、必ず付属の落下防止用ワイヤーを取り付けて落下防止対策をしてください。
- バランスが悪くなるレンズは、使用しないでください。最大搭載質量が8 kg以下でもバランスが悪い場合、使用できません。
- 屋外や45℃以上の暑いところや、0℃以下の寒いところには設置しないでください。
また、湿度90%以下のところでお使いください。
- 回転台を設置するねじやアンダープレートを取り付けるねじは付属されていませんので、別途ご購入ください。
- 回転部分を持って、持ち上げないでください。
故障の原因になります。
- 本機のRP端子、COM端子と一般のLAN回線、または電話回線を接続しないでください。故障の原因になります。
- 回転部分を手で回さないでください。
故障の原因になります。
- 落としたり、強い衝撃を与えますと故障の原因になります。
- モニター周囲より1 m以上離して設置してください。
- カメラを回転台に取り付けるときは、脱落や落下に十分注意してください。
- 本機には、落下防止用ワイヤー (カメラ用) を付属しています。
説明内容をお読みのうえ、必ずワイヤーを取り付けて、落下防止対策をしてください。
- 回転台が旋回したときに、回転台に取り付けた機器やケーブルが周辺のものに接触しないように設置し、可動範囲 (リミッター) の設定をしてください。
(リミッターの設定は、コントローラーの取扱説明書を参照してください。)
- 使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。
- 電源プラグを2ピンに変換して使用される場合は、販売店にご相談のうえ、アース線付きのプラグアダプターを使用し、必ず接地接続を行ってください。
- 接地接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください
- カメラケーブルは、電灯線などに近づけて配線しないでください。
ノイズの入る原因になります。

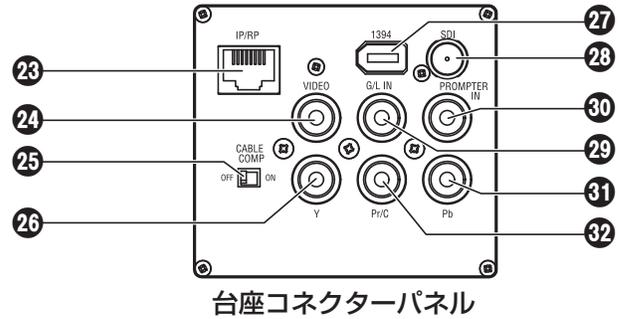
各部の名称とはたらき



各部の名称とはたらき



回転ヘッドコネクタパネル



台座コネクタパネル

AW-PH400

1 回転ヘッド

水平方向に回転します。

2 台座

3 POWER ON/OFF スイッチ

[ON] にすると、屋内回転台の電源が入り、[OFF] にすると回転台の電源が切れます。

4 AC100 V インレット [AC IN] (AC 3P インレット)

付属の AC 電源ケーブルを接続します。

5 カメラ取付ベース取付ねじ

六角穴付ねじ M5 × 22 mm および M5 平ワッシャー (付属品 各 3 個)
カメラ取付ベースを回転アームに固定します。
(14ページ参照)

6 タリーランプ (付属品)

選択信号により赤色に点灯します。

7 回転アーム取付ねじ

六角穴付ねじ M5 × 22 mm および M5 平ワッシャー (付属品 各 4 個)
回転アームを回転ヘッドに固定します。
(14ページ参照)

8 回転アーム

上下方向に回転します。

9 カメラ取付ベース

コンバーチブルカメラを取り付けます。

10 回転台取付穴

回転台を設置するための取付穴です。
(六角ボルト用、4 か所)

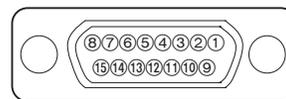
11 アンダープレート

回転台本体の落下防止のため、アンダープレートの穴 (φ8.5、1か所) を使い回転台の4か所とは別に固定します。

12 PROMPTER 端子

プロンプターを接続する端子です。
DC 12 V OUT から供給できるのは、最大 2 A です。
プロンプターを接続すると、回転台のスピードが約 1/3 になります。
プロンプターを使用する場合は、必ず DETECT 端子 (ピン No.14) と GND 端子 (ピン No.15) をショートしてください。

ご注意 ● プロンプター搭載の際は、取付金具および全体のバランス等を確認する必要がありますので、販売店にご相談ください。



プロンプター端子を正面から見たときのピン配置

ピン No.	信号名
1	---
2	9
3	PROMPTER VIDEO
4	PROMPTER VIDEO GND
5	---
6	---
7	---
8	DC 12V OUT
9	---
10	---
11	---
12	---
13	---
14	DETECT
15	---
16	---
17	---
18	---
19	---
20	---
21	---
22	---
23	---
24	---
25	---
26	---
27	---
28	---
29	---
30	---
31	---
32	---

各部の名称とはたらき

13 ガイドピン

カメラの取付方向を決めるピンです。

14 カメラ取付ねじ (U1/4-20UNC)

カメラを取り付け、確実に固定してください。

15 側面ブランクパネル

台座コネクタパネルの取付方向を変更するときのパネルです。

16 SDI IN 端子 [SDI IN]

コンバーチブルカメラに装着した SDI カード (AW-PB504) 等の SDI OUT 端子と同軸ケーブルで接続します。

17 LENS I/F (2) 端子 [LENS I/F (2)]

LENS I/F (2) 端子の定格電流は 500 mA です。最大消費電流が 500 mA を超えるレンズは使用できません。レンズの最大消費電流については、レンズメーカーにお問い合わせください。キヤノン (株) 製 IAS、WAS、VAS レンズ、またはフジノン (株) 製 RD レンズを使用する場合に使用します。

接続には、別売の接続ケーブルが必要です。

レンズ	ケーブル
キヤノン デジタル アナログ	AW-CA4DLZG AW-CA4ALZG
フジノン	AW-CA4FLZG

ご注意

接続ケーブルの取扱説明書を参照の上、正しく接続してください。

18 OPTION 端子 [OPTION]

オプションのロールユニット (AW-RL400) を接続する端子です。AW-RL400 に付属のケーブルで接続します。

19 LENS I/F (1) 端子 [LENS I/F (1)]

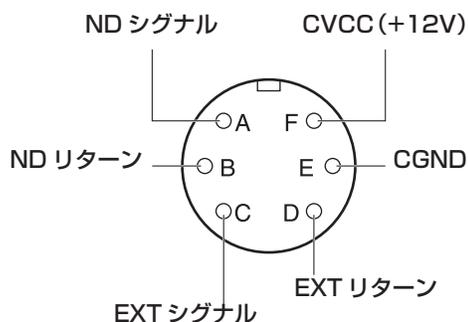
電動レンズユニットのズーム/フォーカス制御用端子です。電動レンズユニットのリモート (ズーム/フォーカス) コントロールケーブルを接続します。

20 CAMERA I/F 端子 [CAMERA I/F]

コンバーチブルカメラの制御用端子です。本機 (AW-PH400) に付属のカメラケーブルでカメラの REMOTE 端子と接続します。オプションカードの機能によっては専用のカメラケーブル (別売) が必要です。

21 ND/EXT 端子 [ND/EXT]

電動レンズユニットの ND フィルターやレンズエクステンダー制御用端子です。ND フィルターやレンズエクステンダー機能を持つ電動レンズユニットを使用する場合に接続します。適合コネクタは、多治見無線電機 (株) R03-P6M または、R03-PB6M です。



(ケーブル側より見た図)

22 TALLY ON/OFF スイッチ [TALLY]

ON にすると、選択信号によりタリールンプが点灯します。OFF にすると選択信号が入力されてもタリールンプ (6) は点灯しません。

23 CONTROL IN IP/RP 端子 [IP/RP]

カメラ/回転台の制御信号端子です。回転台コントローラ (AW-RP400) の CONTROL OUT TO PAN/TILT 端子と接続します。接続ケーブルは、10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5) をご用意ください。

24 VIDEO 端子 [VIDEO]

カメラの映像信号出力端子です。ケーブル補償器 (AW-RC400) の Y/VIDEO 端子や、モニター等に接続します。接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

各部の名称とはたらき

25 CABLE COMP ON/OFF スイッチ

[CABLE COMP]

ON にすると、500 m 相当のケーブル補償された信号が VIDEO 端子、Y/Pr/Pb 端子から出力されます。ケーブル補償器 (AW-RC400) と合わせて、1000 m まで映像ケーブルを延長できます。

26 Y 端子 [Y]

カメラの映像信号出力端子です。ケーブル補償器 (AW-RC400) の Y/VIDEO 端子や、モニター等に接続します。接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

27 1394 端子 [1394]

IEEE1394 カード (AW-PB310) 等を搭載したコンバーチブルカメラと回転台の制御用端子です。接続ケーブルは、IEEE1394 ケーブルをご用意ください。

28 SDI 端子 [SDI]

カメラの映像信号出力端子です。コンバーチブルカメラに SDI カード (AW-PB504) 等を装着して使用すると、SDI 信号を出力することができます。接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

29 G/L IN 端子 [G/L IN]

ゲンロック信号入力端子です。ケーブル補償器 (AW-RC400) 等の G/L OUT 端子に接続します。接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

30 PROMPTER IN 端子 [PROMPTER IN]

プロンプター用の映像信号を入力する端子です。接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

31 Pb 端子 [Pb]

カメラの映像信号出力端子です。ケーブル補償器 (AW-RC400) の Pb 端子や、モニター等に接続します。接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

32 Pr/C 端子 [Pr/C]

カメラの映像信号出力端子です。ケーブル補償器 (AW-RC400) の Pr/C 端子や、モニター等に接続します。接続ケーブルは、BNC 同軸ケーブルをご用意ください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■ 回転台の組み立て

組み立ての際には、付属の六角レンチやドライバーを使って、規定のトルクで締め付けてください。
取り付け後、取り付けガタがないことを確認してください。

① カメラ取付ベースの取り付け

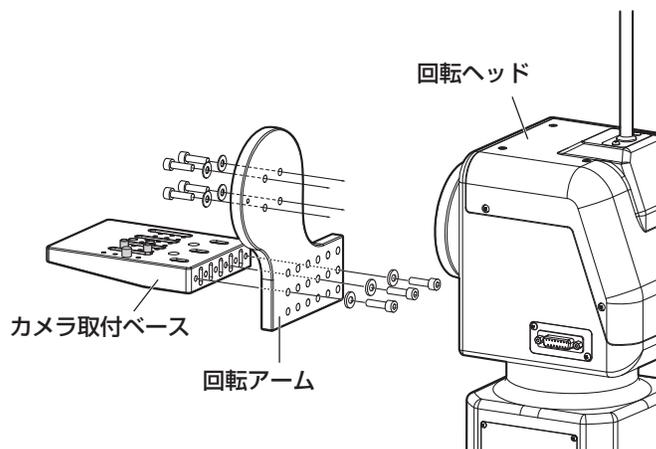
カメラ取付ベースを、付属の取付ねじ 3 本 (M5 × 22mm : 平ワッシャー付) で回転アームへ取り付けてください。
設置方法によって取付方向が異なります。

② 回転アームの取り付け

回転アームを、付属の取付ねじ 4 本 (M5 × 22mm : 平ワッシャー付) で回転ヘッドへ取り付けてください。
設置方法によって取付方向が異なります。

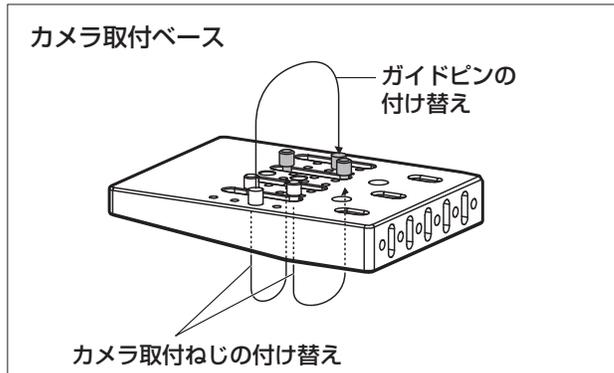
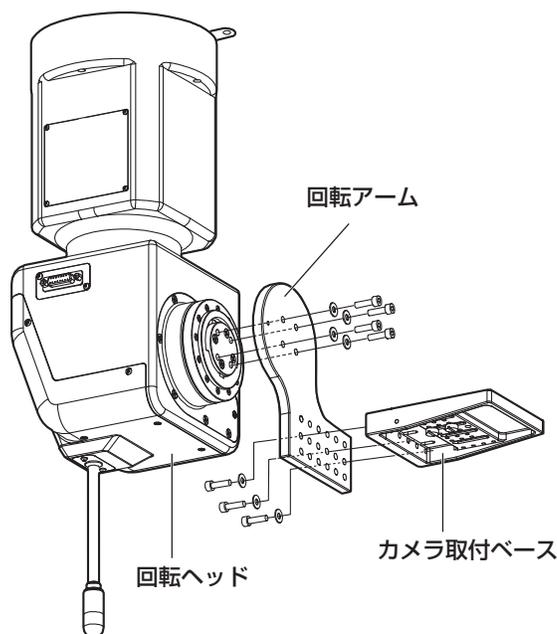
ベースとアームの 取り付け	締め付けトルク
取付ねじ (M5)	3.0 N・m (30 kgf・cm)
ガイドピン (M4)	1.5 N・m (15 kgf・cm)

据え置き設置の場合



吊り下げ設置の場合

- カメラ取付ベースは、ガイドピンとねじの位置を右図のように付け替えてから、回転アームに取り付けてください。
- ガイドピンは、マイナスドライバーで締め付けてください。



取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

③ タリーランプの取り付け

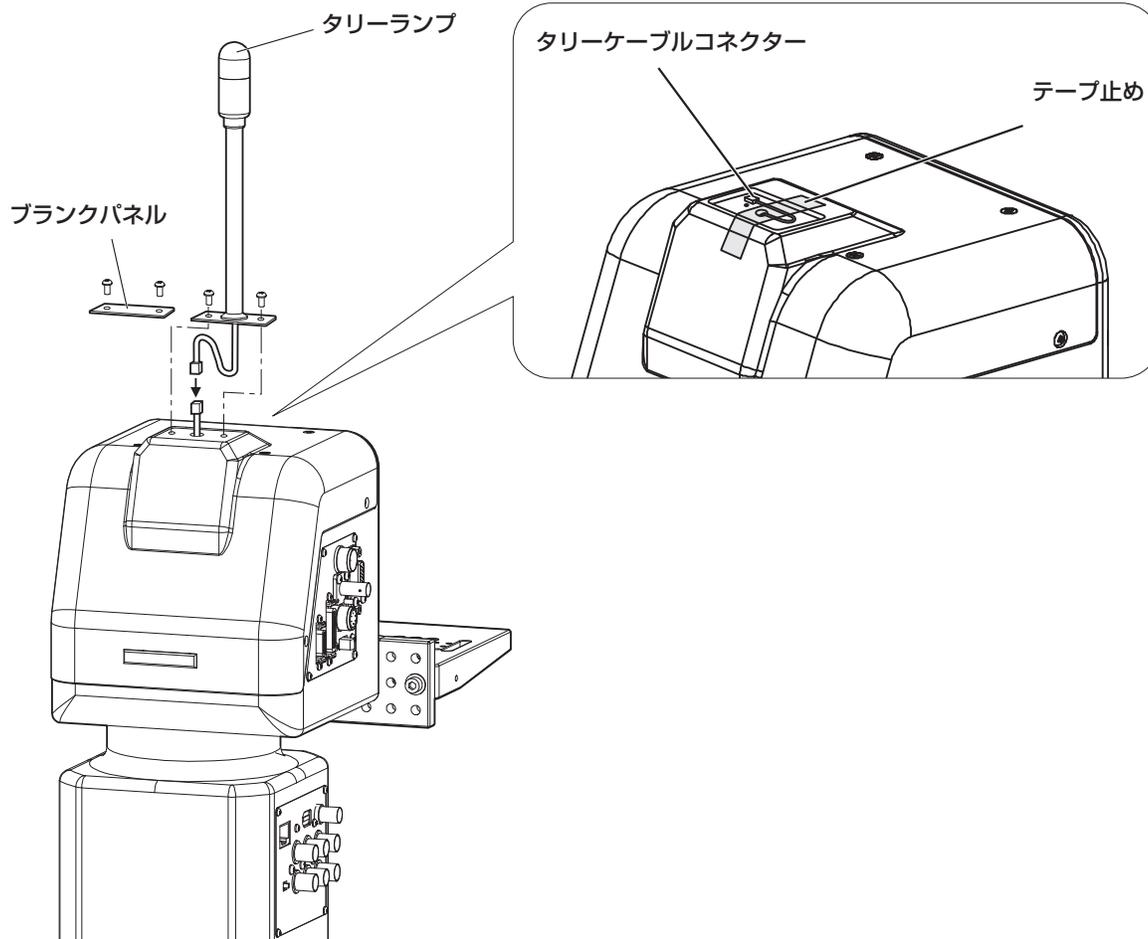
回転台の上部にテープ止めてあるケーブルコネクタをタリーランプのコネクタと接続します。
タリーランプを回転台上部へ付属のねじ 2 本で取り付けます。

ご注意 ● 使用時に緩みが発生しないように、ドライバーを使って、ねじを下記のトルクで締め付けてください。

タリーランプの取り付け	締め付けトルク
取付ねじ (M3)	0.8 N・m (8 kgf・cm)

このとき、配線に注意して取り付けてください。

タリーランプを使用しない場合は、回転台上部に貼り付けてあるケーブルを回転台内部に挿入し、タリー用blankパネルを付属のねじ 2 本で取り付けます。



取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■ 設置方向スイッチの設定

吊り下げ設置を行う場合、次のようにスイッチを設定します。
(出荷時の設定は、据え置き設置に設定されています。)

① ねじ 4 本を外し、台座コネクターパネルをゆっくり取り外してください。

② 回転台内部の基板のスイッチ S1 を次のようにセットしてください。

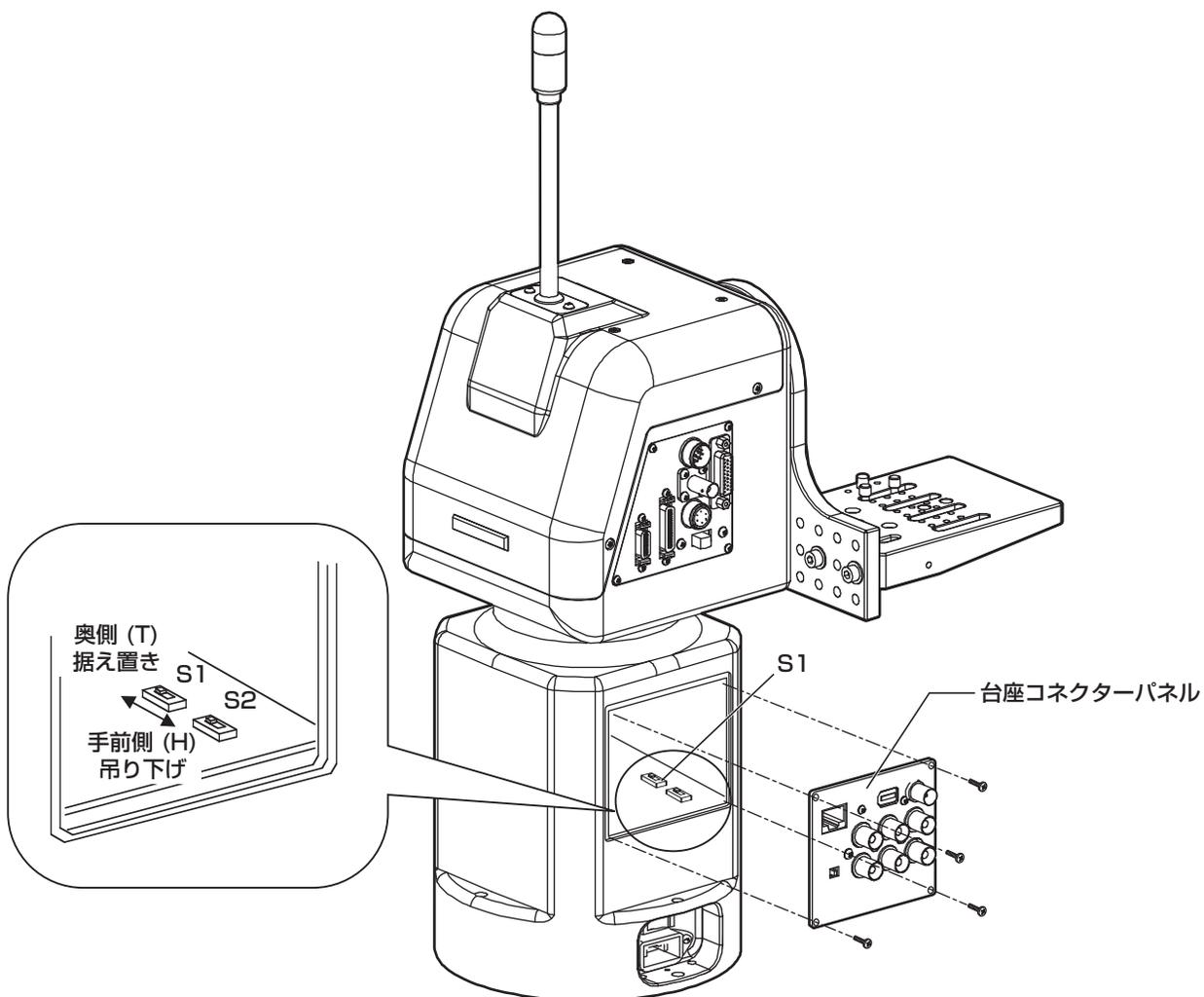
据え置き設置の場合

S1 を奥側 (T) にセットします。(出荷時設定)

吊り下げ設置の場合

S1 を手前側 (H) にセットします。

③ 設定終了後、台座コネクターパネルを元に戻し、ねじで取り付けてください。(配線に注意してください。)



- スイッチの設定を行うときは、電源を必ず OFF にしてください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■ 基板スイッチの設定

伝送する信号や回転台に接続する機器に応じて、CONNECTOR 基板のスイッチを設定する必要があります。
(出荷時の設定はアナログ / SDI 対応に設定されています。)

- アナログ / SDI 対応

IP/IEEE スイッチ : IEEE

422/IP スイッチ : 422

- WEB カード対応

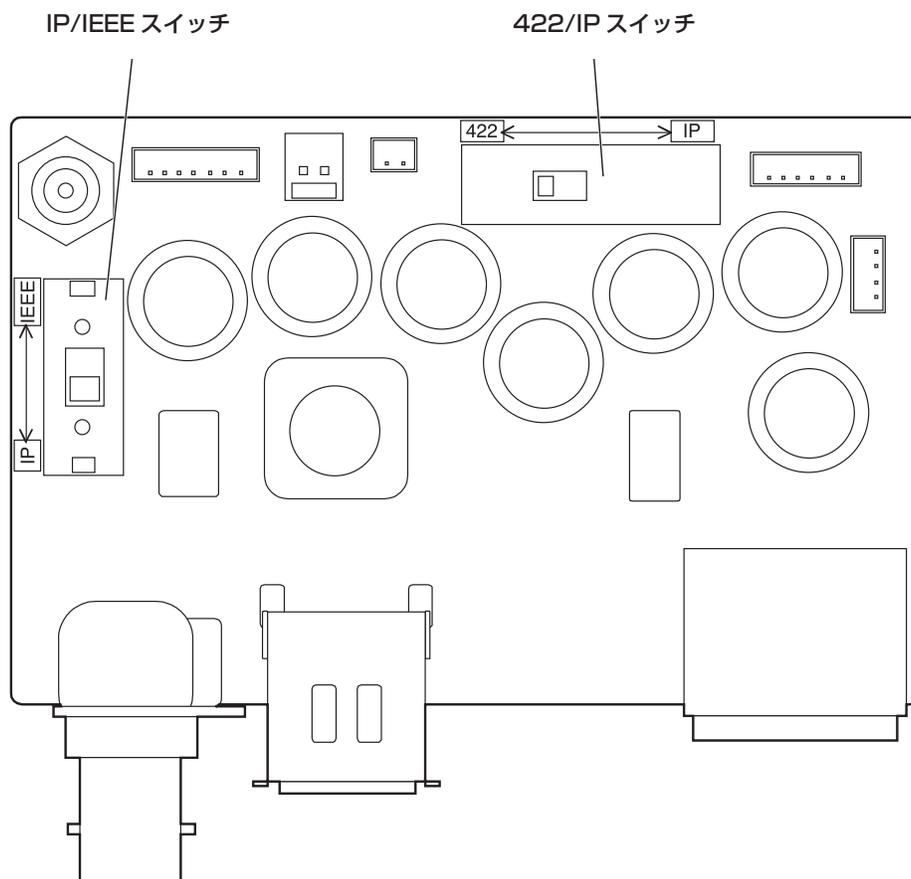
IP/IEEE スイッチ : IP

422/IP スイッチ : IP

- IEEE1394 カード対応

IP/IEEE スイッチ : IEEE

422/IP スイッチ : 422



取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■回転台の取付条件

回転台質量	取付仕様	適合カメラ	カメラ質量	カメラ落下対応	適合レンズ	レンズ質量	ケーブル質量	全体質量
約10 kg	据え置き および 吊り下げ	コンバーチブル カメラシリーズ AW-E350 AW-E650 AW-E655 AW-E750 AW-E860 AW-HE870	最大 約1.2 kg	付属ワイヤー 取り付け	AW-LZ16MD55P AW-LZ16MD73P AW-LZ17MD9AG	最大約1.3 kg	約0.3 kg	約13 kg
		マルチパーパス カメラシリーズ AK-HC1500G AK-HC1800G	約1.5 kg		HA21シリーズ HA22シリーズ HJ17eシリーズ HJ21eシリーズ	最大約3.2 kg		約15 kg

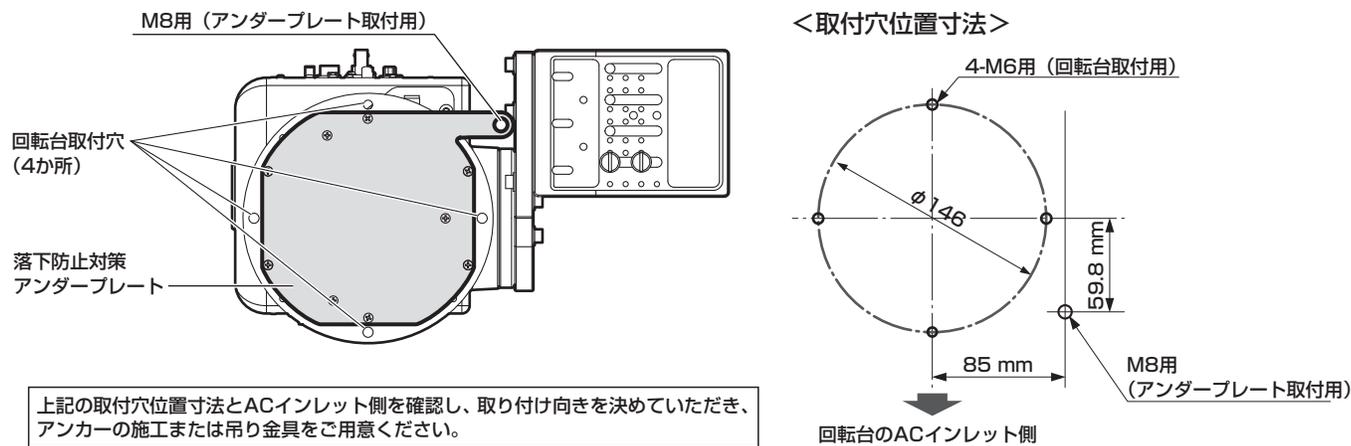
回転台の取り付け	
推奨ねじ	ねじ数
六角ボルト (M6)	4本

プレートの取り付け	
推奨ねじ	ねじ数
六角ボルト (M8)	1本

(注) ブロンプター等を取り付けた場合は、上記よりも質量が増えますのでご注意ください。

■お客様でご用意いただくもの

回転台を設置するときは、「回転台の取付条件」を確認して、次の説明内容を守ってください。
本機の底面には、回転台取付穴とは別に、落下防止対策アンダープレート用の穴が設けてあります。



回転台の取り付けおよびアンダープレート取り付けのため、下記のものをご用意ください。

- ① 埋め込みアンカー M6タイプ：4か所 (回転台用)
M8タイプ：1か所 (アンダープレート用)
 - アンカー設置の位置寸法につきましては、10ページの図面を参照してください。
- ② 六角ボルトまたはナット M6：各4個、M8：各1個
 - 回転台部の厚さ 47 mm (厚い部分)：3か所
 - 回転台部の厚さ 5 mm (薄い部分)：1か所
 - アンダープレート厚さ 2 mm：1か所
 - ボルトの場合は、上記の寸法を考慮して、回転台用とアンダープレート用それぞれのボルトの長さを決めてください。
- ③ 平ワッシャー、スプリングワッシャー M6：各4個、M8：各1個

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■回転台の設置

回転台を設置するときは、「回転台の取付条件」を確認して、次の説明内容を守ってください。

製品の脱落、落下による事故を未然に防ぐため、本機とは別に落下防止対策アンダープレートを取り付けて、必ず落下防止対策をしてください。

所定の動作、性能が確保できませんので、横向きでの設置はおやめください。

- 設置面は、使用するアンカー 1本あたり指定引き抜き強度の5倍以上の強度が必要です。
- アンカーまたは吊り金具を施工してから、回転台の取り付け・落下防止対策をしてください。
- 回転台の設置が完了してから、カメラを回転台に取り付けてください。
- アンカーの埋め込み深さは、各アンカーメーカーの推奨値にしてください。
- 回転台取付穴（4か所）には、M6のボルトまたはナットを使用して取り付けを行ってください。
- アンダープレート用穴（1か所）には、M8のボルトまたはナットを使用して取り付けを行ってください。
- オスねじ型アンカーに取り付ける場合は、回転台とアンダープレートを取り付けたナットからアンカーボルトが7 mm 以上出ていることを確認してください。(図1)
- メスねじ型アンカーに取り付ける場合は、ボルト径の2倍以上の深さでボルトがメス型アンカーに入ることを確認してください。(図2)
- 六角ボルトおよびナットには、必ず平ワッシャー、スプリングワッシャーを使用してください。
推奨締め付けトルク：

ボルト	締め付けトルク
六角ボルト (M6)	5.0 N・m (50 kgf・cm)
六角ボルト (M8)	12.0 N・m (120 kgf・cm)

締め付けには、トルク指定できるトルクレンチを使用してください。

- 設置面として石膏ボードや木部は、強度が弱いので、取り付けないでください。
- 回転台が回転したときに、回転台に取り付けた機器やケーブルが周辺の物に接触しないように設置してください。
- 使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。
- ねじやボルトは指定されたトルクで締め付けを行ってください。過度なトルクで締めると、ねじ山が破損し落下の原因になります。また、弱いトルクで締めるとねじの緩みの原因になります。
- 締め付けの際にトルクを指定するため、トルクドライバーやトルクレンチを使用してください。
- トルクドライバーやトルクレンチはトルク指定を行える範囲に制限があります。指定された推奨トルク値を参考にして、適切なトルクドライバーやトルクレンチを使用してください。
- トルク管理が難しいインパクトドライバーや電動ドライバーの使用は、ねじやボルトの破損の原因になりますので、使用しないでください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

設置場所が主要構造部 (コンクリート120 mm以上) の場合

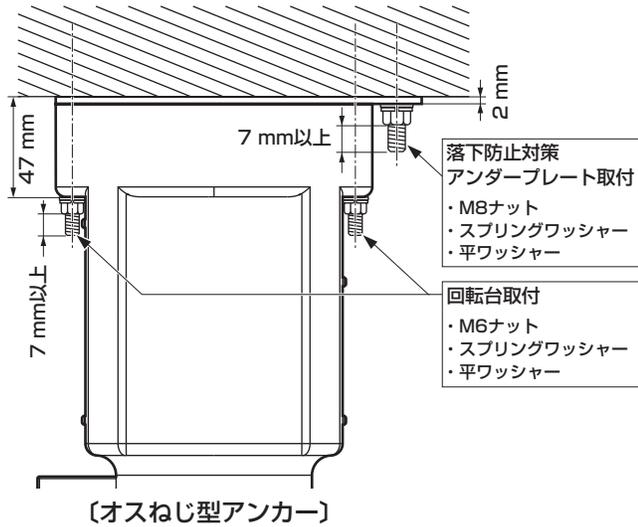


図1

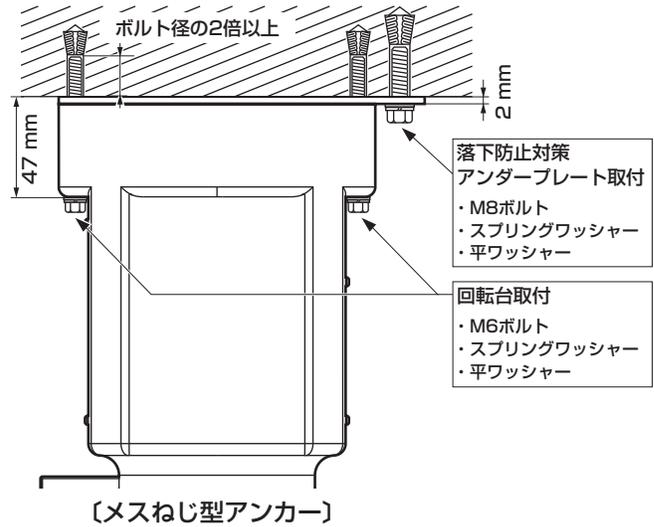
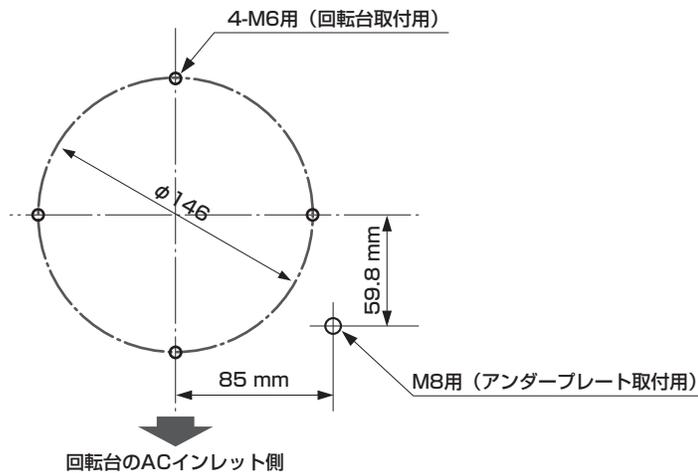


図2

<取付穴位置寸法>



上記の取付穴位置寸法とACインレット側を確認し、取り付け向きを決めていただき、アンカーを施工してください。

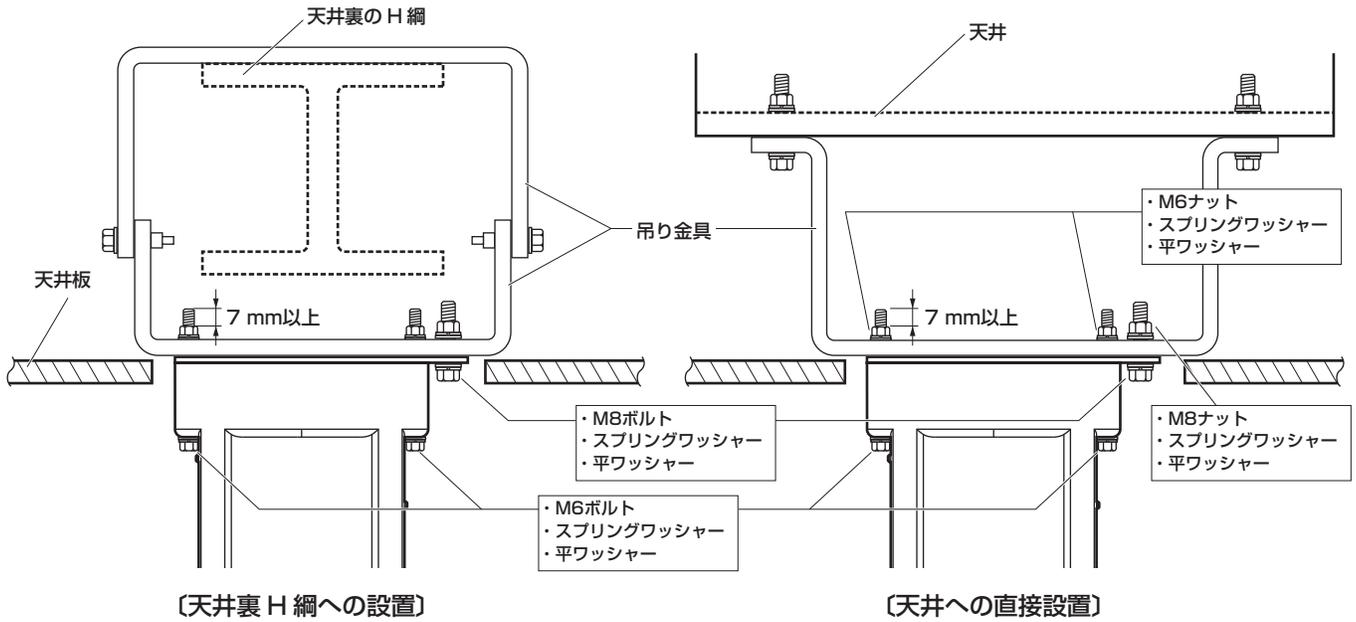
ご注意

- 回転台の取付部の厚さ (3か所: 47 mm、1か所: 5 mm) および落下防止対策アンダープレートの厚さ (2 mm) を含めて、アンカー用のオスねじの長さとおメスねじの深さを決めてください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

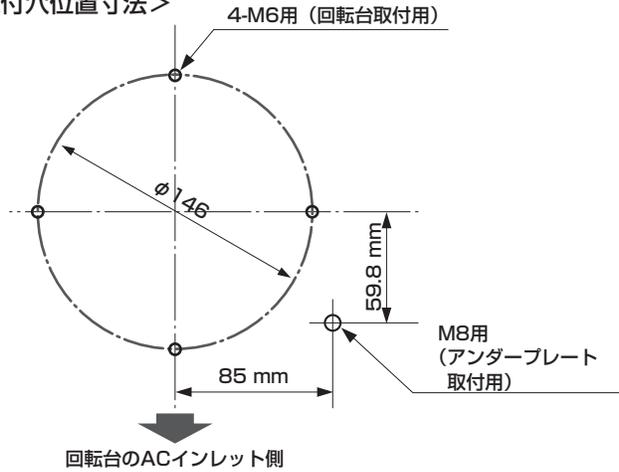
設置場所が主要構造物 (石膏ボード等) の場合

※強度を確保できない構造物への設置は、避けてください。

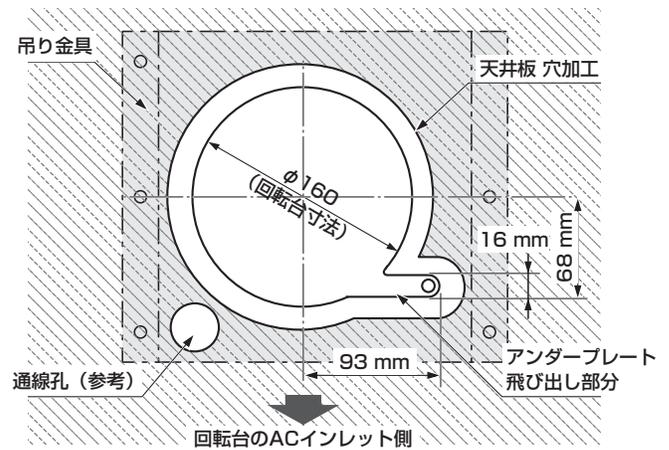


AW-PH400

<取付穴位置寸法>



<天井板：抜穴寸法>



上記の取付穴位置寸法、天井板抜穴寸法およびACインレット側を確認し、取り付け向きを決めていただき、吊り金具への穴加工、天井板抜穴加工をしてください。

ご注意

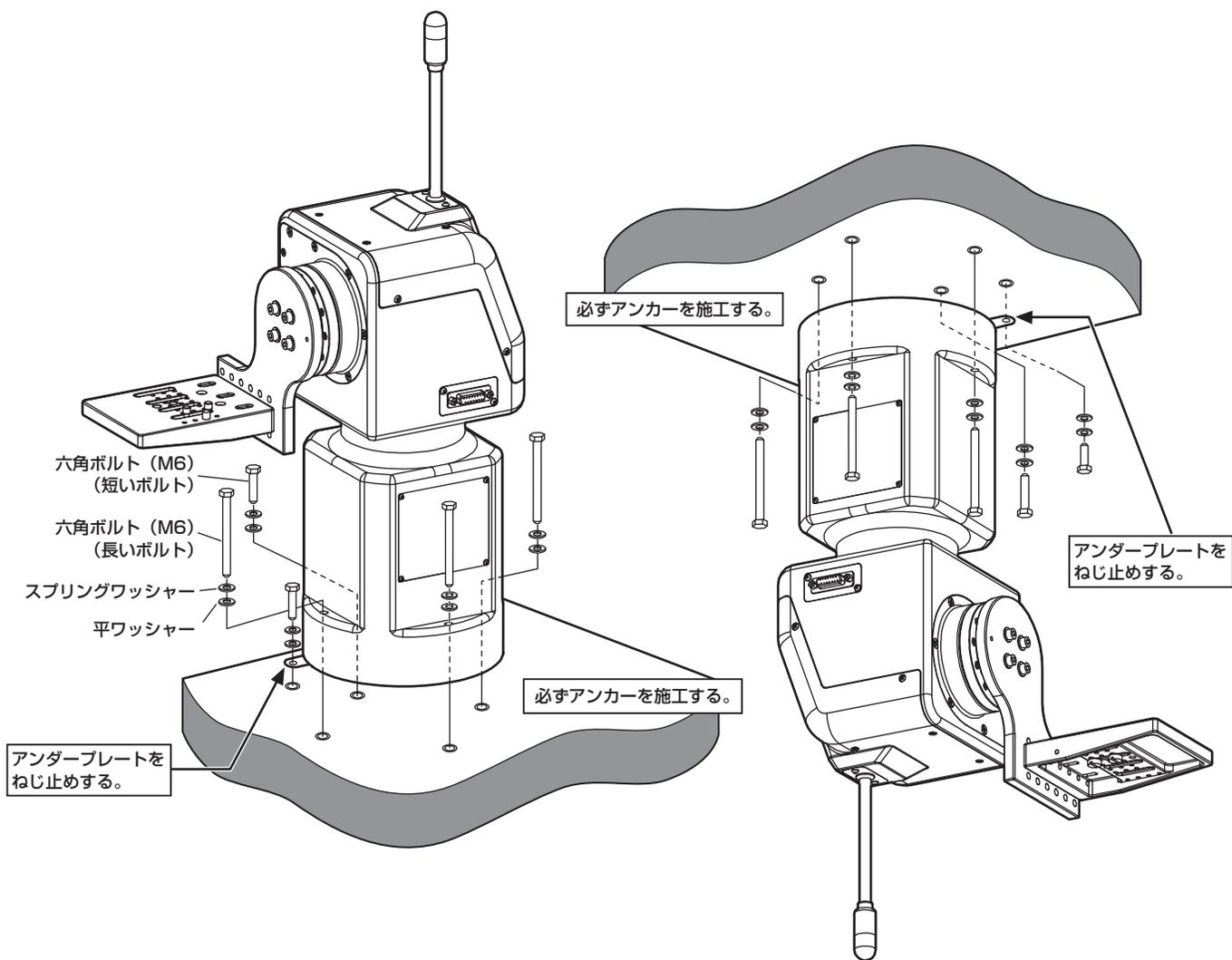
- 天井裏のH網等と連結させる吊り金具を準備して、そこに回転台を取り付けてください。
- 必ず、ボルト・ナット・平ワッシャー・スプリングワッシャーを使って取り付けてください。

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

<メスねじ型アンカーの場合>

据え置き設置の場合

吊り下げ設置の場合



- で注意**
- 六角ボルトは、トルク指定のできるトルクレンチを使って、右表のトルクで締め付けてください。締め付けた後は、がたつきがないことを確認してください。
 - 設置するときには、“回転ヘッド” や “回転アーム” を強制的に手で回さないでください。故障の原因となります。

回転台の取り付け	締め付けトルク
六角ボルト (M6)	5.0 N・m (50 kgf・cm)
六角ボルト (M8)	12.0 N・m (120 kgf・cm)

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■ カメラの取り付け

(コンバーチブルカメラ (AW-E350/E650/E655/E750/E860/HE870) の場合)

カメラを取り付けるときは、カメラの脱落や落下防止に十分注意してください。

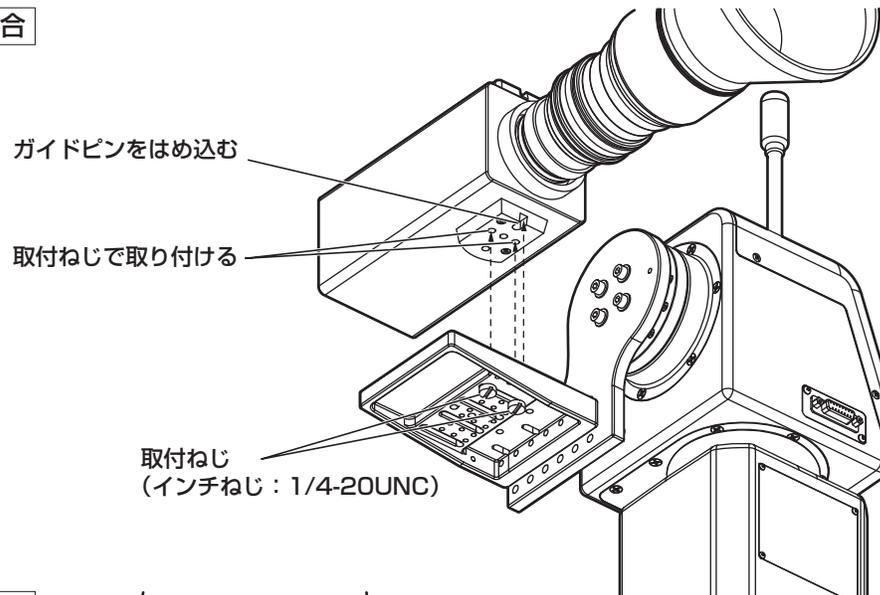
- ① コンバーチブルカメラにレンズを取り付けます。
(大型のレンズを取り付ける場合は、あらかじめ販売店にご相談ください。)
- ② ガイドピンに合わせてコンバーチブルカメラを取り付けます。

- ご注意**
- カメラを仮固定したあと、必ずマイナスドライバーを使って、カメラ取付ねじ2本を確実に締めてください。
 - カメラを取り付けた後、取り付けガタがないことを確認してください。

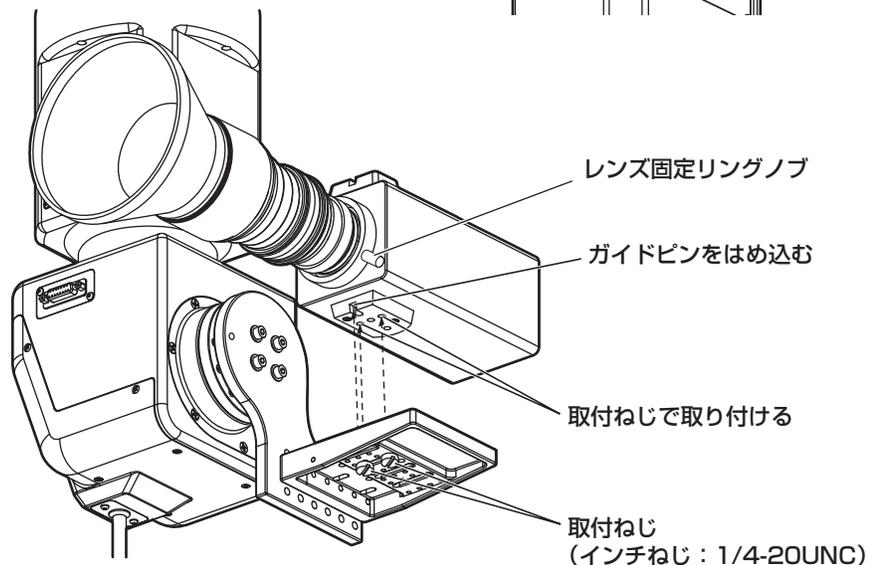
カメラの取り付け	締め付けトルク
取付ねじ (インチねじ)	2.0 N・m (20 kgf・cm)

- レンズは、レンズ固定リングノブで確実に締め付けて、がたつきのないことを確認してください。
フードについても、がたつきのないことを確認してください。

据え置き設置の場合



吊り下げ設置の場合



<推奨レンズ>

カメラ	レンズ
AW-E350	AW-LZ16MD55P
AW-E650 AW-E655	AW-LZ16MD73P
AW-E750 AW-E860 AW-HE870	AW-LZ17MD9AG

AW-PH400

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

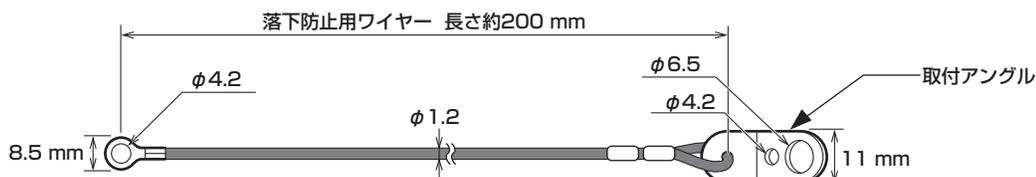
■ワイヤーの付けかた

〔コンバーチブルカメラ (AW-E350/E650/E655/E750/E860/HE870) の場合〕

本機には、落下防止用ワイヤーを付属しています。

下記の要領でカメラと回転台をワイヤーで連結してください。

ご注意 ●ワイヤーは、必ずプラスドライバーを使って、取付ねじ2本で確実に締めてください。



●取付ねじの締め付けについては、右表のトルクで締め付け、がたつきのないことを確認してください。

ワイヤーの取り付け	孔径	締め付けトルク
取付ねじ (インチねじ)	φ6.5	2.0 N・m (20 kgf・cm)
取付ねじ (M4)	φ4.2	1.5 N・m (15 kgf・cm)

ファン付きのカメラを取り付けるとき

(AW-E655、AW-E750、AW-E860、AW-HE870)

- ① 回転台のアームに、ワイヤー取付ねじ (M4 × 8 mm : 平ワッシャー/スプリングワッシャー付) でワイヤーの片側を取り付けます。
- ② カメラ取付用ねじ穴に、ワイヤー取付ねじ (インチねじ : 1/4-20UNC、平ワッシャー/スプリングワッシャー) でワイヤーの片側 (取付アングルのφ6.5の穴を使用) を取り付けます。

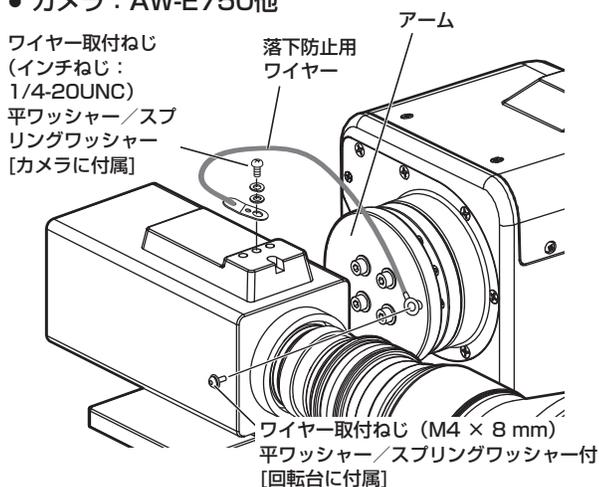
ファンなしのカメラを取り付けるとき

(AW-E350、AW-E650)

- ① 回転台のアームに、ワイヤー取付ねじ (M4 × 8 mm : 平ワッシャー/スプリングワッシャー付) でワイヤーの片側を取り付けます。
- ② カメラの天面のねじ穴に、ワイヤー取付ねじ (M4 × 8 mm : 平ワッシャー/スプリングワッシャー付) でワイヤーの片側 (取付アングルのφ4.2の穴を使用) を取り付けます。

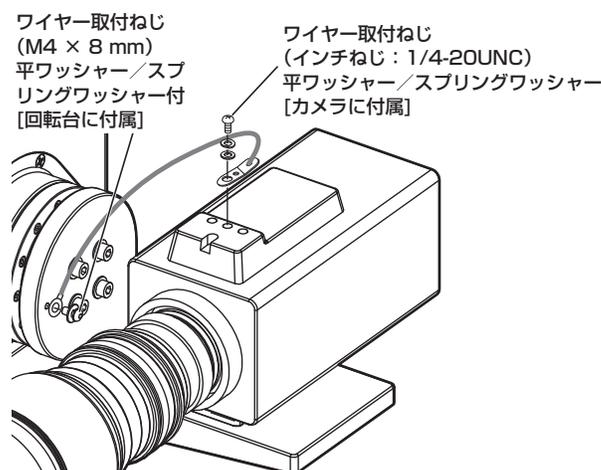
据え置き設置の場合

●カメラ : AW-E750他

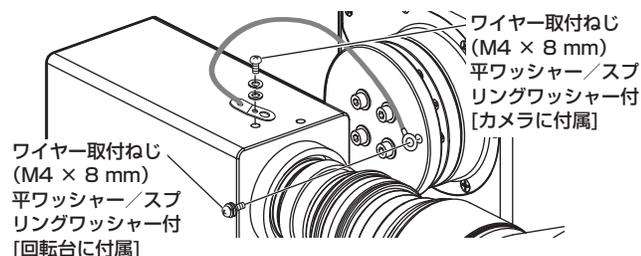


吊り下げ設置の場合

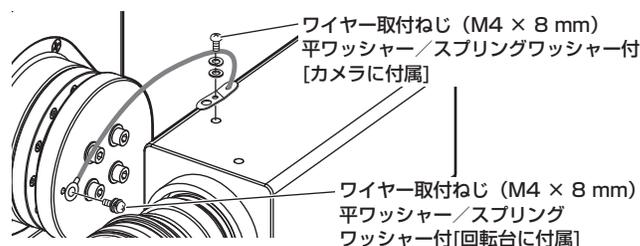
●カメラ : AW-E750他



●カメラ : AW-E350、AW-E650



●カメラ : AW-E350、AW-E650



取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■ カメラの取り付け

〔マルチパーパスカメラ (AK-HC1500G/AK-HC1800G) の場合〕

カメラを取り付けるときは、カメラの脱落や落下に十分注意してください。

① マルチパーパスカメラにレンズを取り付けます。

(1) 使用できるレンズ

●下記のポータブルレンズを使用してください。

フジノン	HA18、HA21、HA22 シリーズ
キャノン	HJ17e、HJ21e シリーズ

(2) 使用できないレンズ

●下記の品番の大型レンズ (質量:5 kg 以上、長さ:400 mm 以上) は、本機とのバランスが確保できませんので、使用しないでください。

フジノン	HA42 シリーズ
キャノン	HJ40 シリーズ

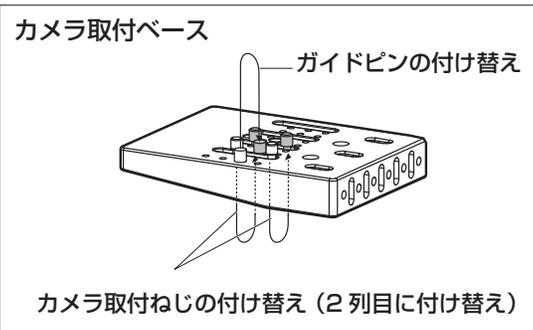
ご注意

- レンズは、レンズ固定リングノブで確実に締め付けて、がたつきのないことを確認してください。フードについても、がたつきのないことを確認してください。
- LENS I/F (2) 端子の定格電流は、最大500 mAです。使用できるレンズのシリーズでも、最大消費電流が500 mAを超えるレンズは使用できません。レンズの最大消費電流については、レンズメーカーにお問い合わせください。

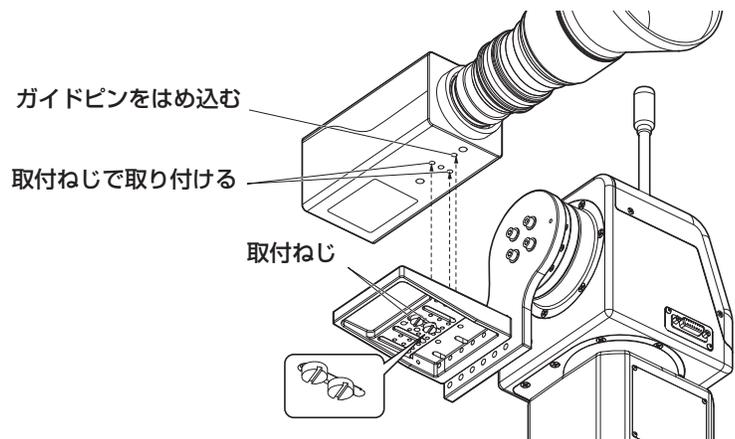
② ガイドピンに合わせてマルチパーパスカメラを取り付けます。

カメラ取付ベースのガイドピンとねじの位置を下図のように付け替えてから、回転アームに取り付けてください。

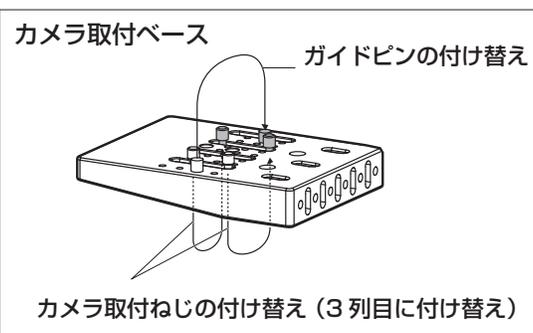
据え置き設置の場合



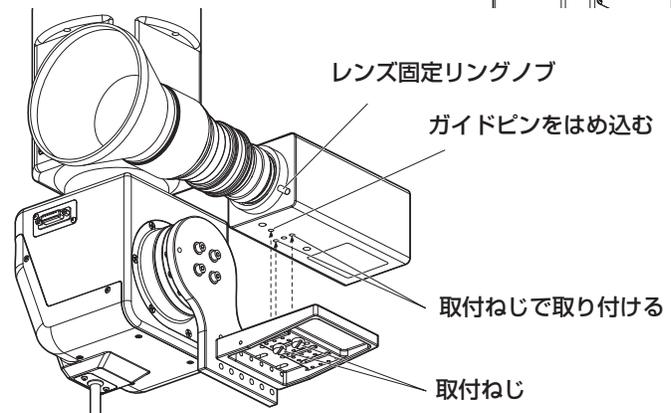
●取付ねじ 2 本は、マイナスドライバーを使って確実に締め付けてください。



吊り下げ設置の場合



●コンバーチブルカメラの場合と同様に、カメラ取付ベースのガイドピンとねじの位置を上図のように付け替えてから、回転アームに取り付けてください。



ガイドピンとカメラの取り付け	締め付けトルク
ガイドピン (M4)	1.5 N・m (15 kgf・cm)
取付ねじ (インチねじ)	2.0 N・m (20 kgf・cm)

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

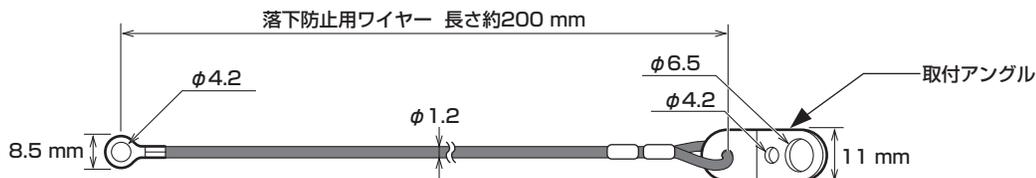
■ワイヤーの付けかた

〔マルチパスカメラ (AK-HC1500G/AK-HC1800G) の場合〕

本機には、落下防止用ワイヤーを付属しています。

下記の要領でカメラと回転台をワイヤーで連結してください。

ご注意 ●ワイヤーは、必ずプラスドライバーを使って、取付ねじ2本で確実に締めてください。



●取付ねじの締め付けについては、右表のトルクで締め付け、がたつきのないことを確認してください。

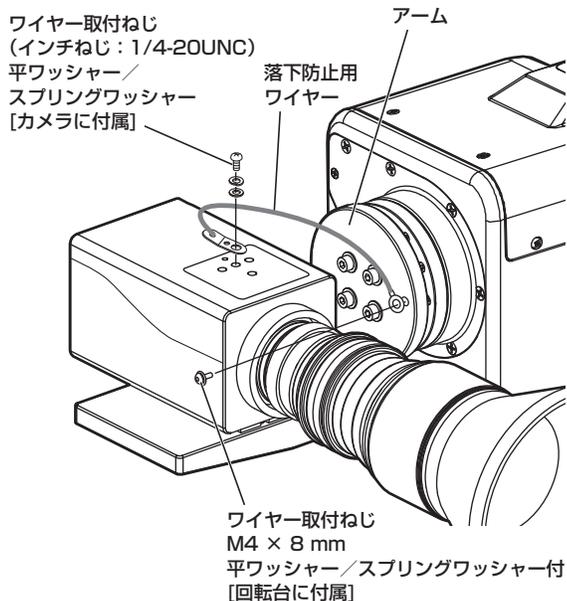
ワイヤーの取り付け	孔径	締め付けトルク
取付ねじ (インチねじ)	φ6.5	2.0 N・m (20 kgf・cm)
取付ねじ (M4)	φ4.2	1.5 N・m (15 kgf・cm)

① 回転台のアームに、ワイヤー取付ねじ (M4 × 8 mm : 平ワッシャー/スプリングワッシャー付) でワイヤーの片側を取り付けます。

② カメラの天面に、ワイヤー取付ねじ (インチねじ、1/4-20UNC : 平ワッシャー/スプリングワッシャー) でワイヤーの片側 (取付アングルのφ6.5の穴を使用) を取り付けます。

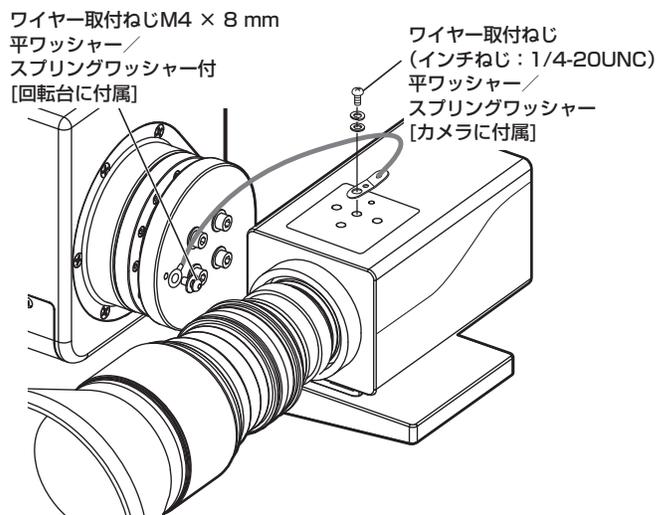
据え置き設置の場合

● カメラ : AK-HC1500G/AK-HC1800G



吊り下げ設置の場合

● カメラ : AK-HC1500G/AK-HC1800G



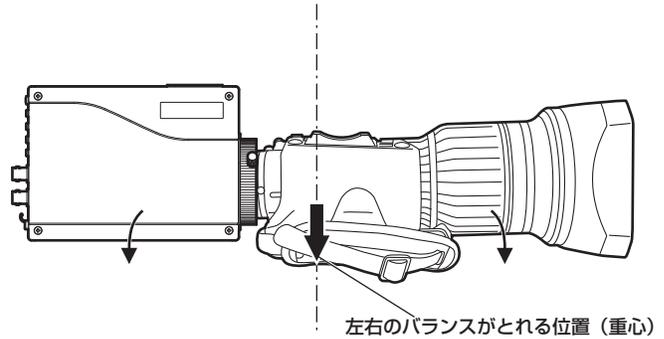
取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

■搭載バランスについて

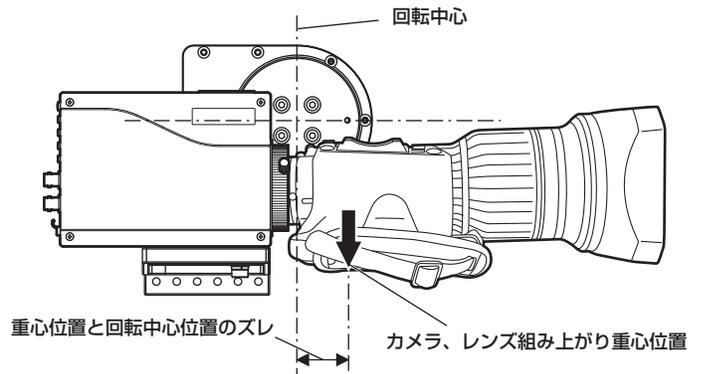
カメラと長いレンズの組み合わせのときに、バランスが悪くなる場合があります。下記の①～③でバランスの確認をして、カメラを取り付けてください。それでも、バランスが悪く動作がスムーズでない場合には、バランス補正が必要となりますので、販売店にご相談ください。

バランスのとりかた

① カメラとレンズの組み上がり状態での重心位置をご確認ください。

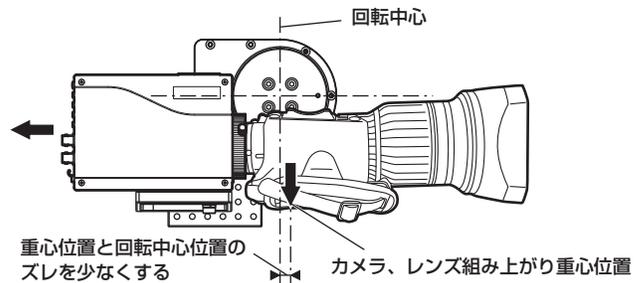
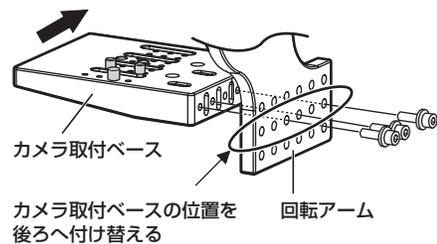


② 重心位置と回転中心位置とのズレが少ないほどバランスがとれます。取り付けの際にご確認ください。



③ ①、②でバランスが取れない場合には、カメラ取付ベースと回転アームを付け替えて、カメラ全体の位置をずらして重心位置と回転中心位置を近づけてください。この場合、下記の点にご注意ください。

- (1) レンズの仕様および設置の向きにより、レンズの突起部やグリップ部が回転アーム等に当たる場合は、付け替えないでください。
- (2) カメラからのコネクターの飛び出しが、回転台の取付面に当たる場合には、次ページのようなスペーサー等を取付面との間に入れるか、リミッター設定をしてください。
- (3) カメラ取付ベースと回転アームは、必ず3本のねじで確実に固定してがたつきのないことを確認してください。

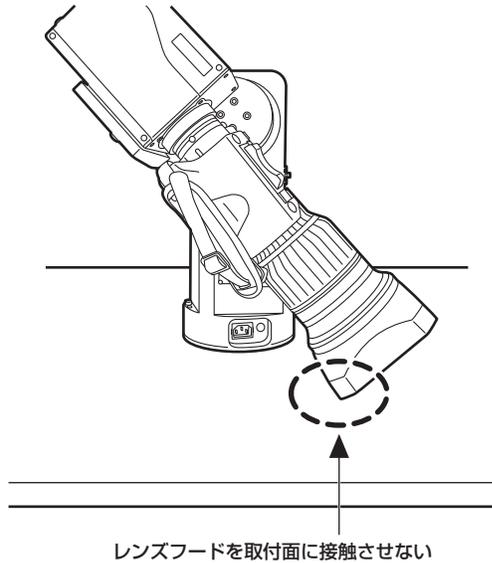


アームの取り付け	締め付けトルク
取付ねじ (M5)	3.0 N・m (30 kgf・cm)

取り付けかた (本機の工事は、必ず販売店にご依頼ください。)

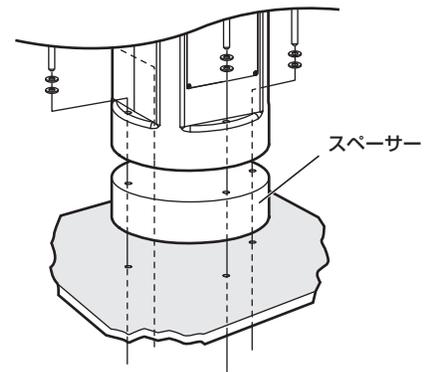
カメラ取り付け上のご注意

- ① レンズの長さを考慮して、チルト動作時にレンズ先端のフードが回転台取付面に接触しないように、リミッターで動作範囲を設定してください。

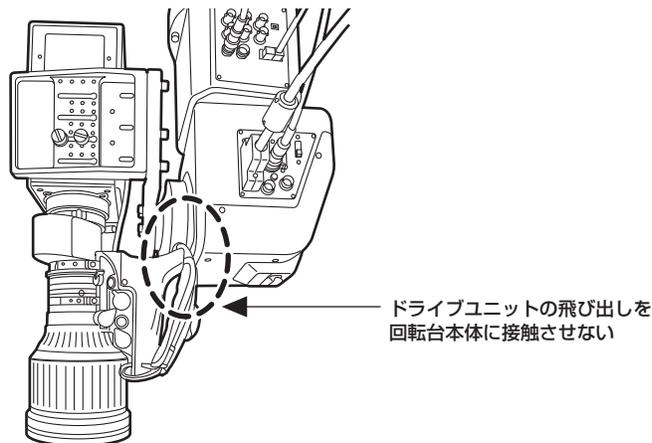


ご注意

- 据え置き状態で、さらに真下にレンズを向けたい場合には、回転台と取付面との間にスペーサー等を入れ、回転台の位置を上げてください。スペーサーは、十分強度のある構造にしてください。また、取付ボルトは長さに十分余裕のあるものをご使用ください。



- ② 吊り下げ設置の場合、チルト動作時にドライブユニットの飛び出しが回転台本体に接触することがありますので、設置の前にリミッターを設定してからお使いください。



- ③ 接続済みのレンズケーブルとカメラケーブルは、いっしょに束ねないでください。動作中に余分な負荷が加わる場合があります。レンズケーブルとカメラケーブルは、必ず別々に束ねてください。

- 必ず、ドライバー等の工具を使用して、カメラ取付ねじ2本を確実に締めて固定してください。
- カメラを取り付けた後、取り付けガタがないことを確認してください。

消耗品の交換

■電池の交換

電池の寿命は、約 5 年です。

本機は、プリセット位置やリミッター等のデータを記憶しています。これらのデータは、電源を切っても保存されていますが、内蔵の電池が寿命となった場合は、電源を切るとデータが失われます。

電池が効力を失った場合は、電池を交換してください。(使用電池は、二酸化マンガンリチウム電池 CR2032 です。)

■取り外しかた

- ① ねじ 4 本を外し、台座コネクターパネルを外します。
- ② 図の矢印の方向に電池を押し、電池をスライドさせます。
- ③ 電池をスライドさせたまま、矢印の部分の下から電池を持ち上げます。
- ④ 電池の矢印部分が電池ホルダーから外れたら、電池を手前に引き抜きます。

■取り付けかた

- ① 新しい電池の+側を手前にして、先端を矢印方向から電池ホルダーに入れます。
- ② 矢印方向に電池を押しながら、ホルダーに押し込みます。
- ③ 台座コネクターパネルをねじ 4 本で取り付けます。

■モーターの交換

動作に支障がある場合は、交換してください。

交換については、販売店にご相談ください。

■ベルトの交換

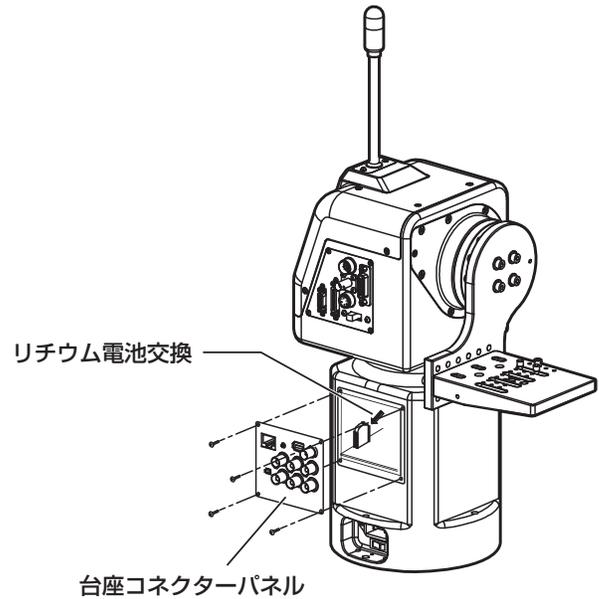
プリセット停止精度が劣化した場合は、交換してください。

交換については、販売店にご相談ください。

■ギヤの交換

プリセット停止精度が劣化した場合は、交換してください。

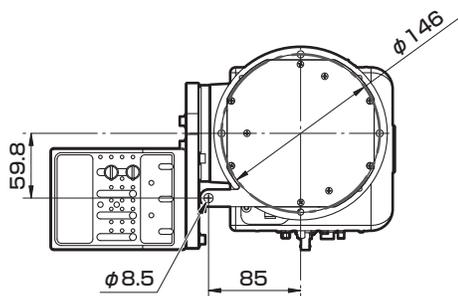
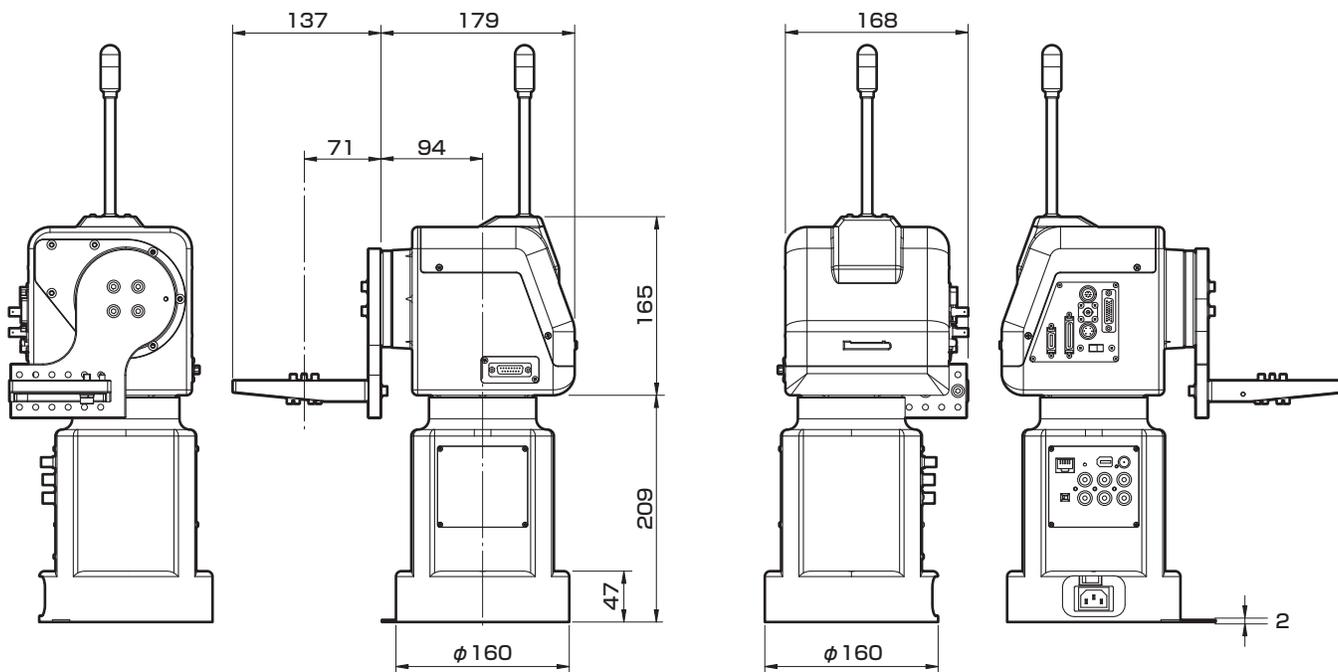
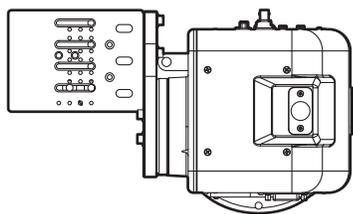
交換については、販売店にご相談ください。



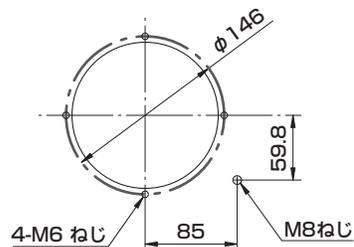
モーターやギヤおよびベルトは、消耗品です。
定期的な交換が必要です。

外形寸法図

単位：mm



<取付穴仕様>



回転台のACインレット側

定 格

電源電圧：	AC 100 V 50/60 Hz
消費電力：	145 W

 は安全項目です。

ゲンロック入力	: BNC ブラックバーストまたはコンポジット VIDEO
プロンプター入力	: BNC
PROMPTER IN	PROMPTER 端子へスルー出力
プロンプター出力	: D-SUB 15 ピン
PROMPTER OUT	
カメラ映像出力	
VIDEO	: BNC、75 Ω出力
Y	: BNC、75 Ω出力
Pr/C	: BNC、75 Ω出力
Pb	: BNC、75 Ω出力
SDI	: BNC
カメラ/回転台コントロール	: RJ45 RS-485 回転台制御信号出力
RP/IP	接続ケーブル：10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5)、最大 500 m
機能/性能	: 最大搭載質量：8 kg (max)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属の落下防止用ワイヤーを使用して落下防止を行う場合、カメラとレンズを組み合わせたときの最大搭載質量は 5 kg 以下です。5 kg を超えて搭載する場合は、搭載質量に十分耐える落下防止対策を必ず施してください。
	チルト範囲：300° (約 ± 150°)
	チルト範囲は、回転台コントローラー (AW-RP400) の初期設定で 190° に制限されています。190° 以上動かす場合は、AW-RP400 の設定を変更してください。
	取り付けるカメラのケーブルやレンズ等により、チルト範囲が制限される場合があります。
	パン範囲：400° (約 ± 200°)
	最大動作速度：90°/s
	(プロンプター取付時最大動作速度：30°/s)
	リピータビリティ：± 30 "
	騒音レベル：NC30 以下 (30°/s 以下)
動作周囲温度	: 0 °C ~ + 45 °C
保存温度	: - 20 °C ~ + 60 °C
動作周囲湿度	: 30 % ~ 90 % (結露なし)
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	: 315 × 534 × 188 mm (突起部含まず)
質 量	: 約 10.2 kg
仕上げ	: AV アイボリー塗装 (マンセル 7.9Y6.8/0.8 近似色)

概要

- 屋内回転台 (AW-PH400) を 5 台まで制御できるコントローラーです。
 - リモートオペレーションパネル (AW-CB400) または、リモートコントロールボックス (WV-CB700A) を本機に接続することにより、回転台に搭載しているコンパニブルカメラのコントロールも同時に行えます。
 - 本機をもう 1 台増設することにより、5 台の回転台システムのうち 2 台を同時コントロールすることが可能です。
 - トレーシングメモリーを最大 10 個メモリーできます。
 - プリセットメモリーを 50 個まで設定できます。
- 本機と回転台システムとの接続距離は、最大 500 m まで延長できます。

ご注意

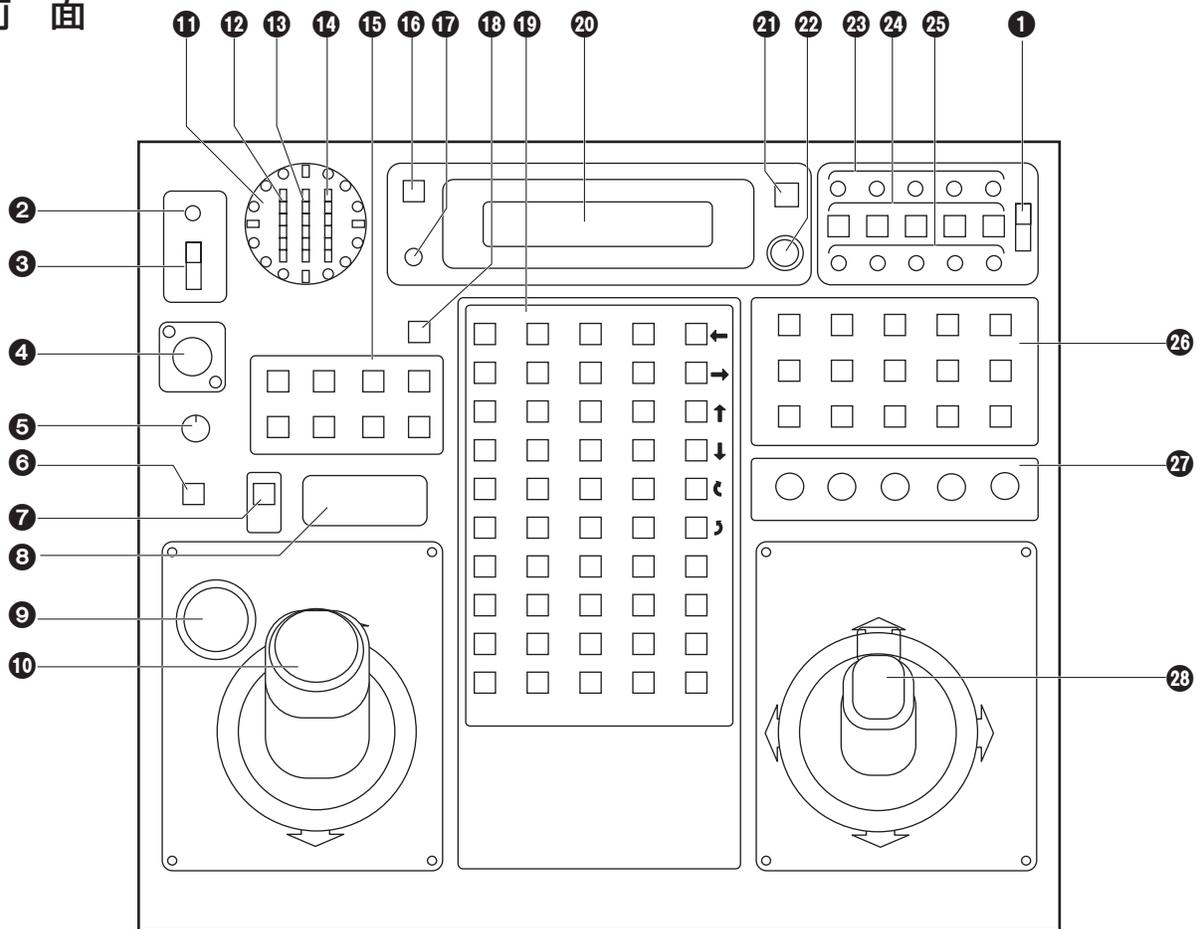
- AW-RP400 は、回転台 (AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH350、AW-PH500、AW-PH600、AW-PH650) のコントロールはできません。
- 使用する前には、必ず、回転台システムの可動範囲 (リミッター) の設定を行ってください。
- 本機のご使用を終え廃棄される時は、環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

付属品

ズームスイッチ	1
タリー／インカムシステム用プラグ (D-SUB 15 ピン).....	1 組
ラックアングル	2
取付ねじ (M4 × 8 mm)	4

各部の名称とはたらき

■ 前 面



AW-RP400

① EXT CONT [M/S] スイッチ

通常は EXT CONT スイッチを [M] (マスター) にしておきます。

AW-RP400 をもう 1 台増設した場合、増設した側の EXT CONT スイッチを [S] (スレーブ) にします。

増設しない場合は、必ず [M] (マスター) 側に設定してください。

② OPERATE ランプ

OPERATE スイッチ (③) が ON のときに、緑色に点灯します。OPERATE スイッチが OFF のときは消灯します。

③ OPERATE [ON/OFF] スイッチ

OPERATE スイッチを [ON] にすると、接続されている回転台からカメラへの電源供給が ON となり、システムが制御可能となります。

OPERATE スイッチを [OFF] にすると、回転台システムからカメラへの電源供給が OFF となります。

ご注意

- OPERATE スイッチを [ON] にしたときに、ジョイスティックとズームスイッチのセンター調整を行いますので、OPERATE スイッチを [ON] にするときは、ジョイスティックとズームスイッチに触れないでください。
- AW-RP400 を増設して使用する場合は、スレーブ側だけでなく、マスター側の OPERATE スイッチも [ON] にしないと、スレーブ側の AW-RP400 からコントロールできません。また、スレーブ側の OPERATE スイッチを先に [ON] にしてから、マスター側の OPERATE スイッチを [ON] にしてください。

④ INCOM ジャック

インカム (Inter Communication) 用のヘッドセットを接続します。

⑤ LEVEL つまみ

ヘッドセットのレシーバー側の音量を調整します。

⑥ CALL ボタン

CALL ボタンを押すと、接続されているコントローラーのブザーが鳴り、CALL ボタンが点灯します。

各部の名称とはたらき

⑦ IRIS [AUTO/MANU/LOCK] ボタン

現在選択されている回転台システムの、レンズアイリスの調整方法を選択します。

ボタンを押す毎に、AUTO/MANU/LOCK が切り替わります。

AUTO : 光量にあわせカメラがレンズ絞りを自動調整します。このとき IRIS ボタンが点灯します。

MANU : IRIS ダイアルでレンズの絞りをマニュアル調整します。このとき IRIS ボタンは消灯します。

LOCK : マニュアル調整を行ったレンズの絞りに固定され、IRIS ダイアル (⑨) を回してもレンズの絞りは動きません。このとき、IRIS ボタンはゆっくり点滅します。

MANU または LOCK を選択しているときに、IRIS ダイアルを回すと IRIS ボタンが早い点滅に変わり、IRIS ダイアル (⑨) を回してもレンズの絞りが制御できないことを表示します。

- 本機にリモートコントロールボックス(WV-CB700A)を接続したときは、本機の IRIS ボタンは機能しません。WV-CB700A の IRIS [AUTO/MAN] スイッチで AUTO か MANU に切り換えてください。

⑧ SD CARD スロット

SD メモリーカードのスロットです。

回転台に AW-PH400 を使用した場合のみ、SD メモリーカードに回転台とカメラの設定情報を保存することができます。

- AW-PH400 以外の回転台を使用した場合は、設定情報を保存することができません。

⑨ IRIS ダイアル

IRIS [AUTO/MANU/LOCK] ボタン (⑦) で MANU を選択しているときに、IRIS ダイアルを回すことで、レンズの絞りを調整できます。時計回りにまわすと開放方向へ、反時計回りにまわすとクローズ方向へ動作します。

- 本機にリモートコントロールボックス(WV-CB700A)を接続したときは、本機の IRIS ダイアルは機能しません。WV-CB700A の IRIS ボリュームで絞りを調整してください。

⑩ ZOOM レバー / FOCUS ダイアル

ZOOM レバーでレンズのズームを調整します。倒す方向により TELE (望遠) と WIDE (広角) を決め、倒す角度により動作スピードを調整します。

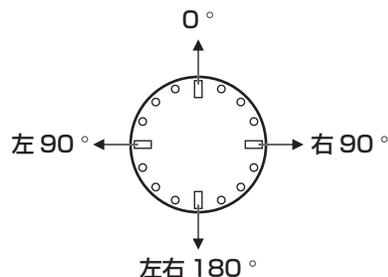
また、レバー上部にある FOCUS ダイアルでレンズのフォーカスを調整します。

⑪ PAN POSITION インジケーター

回転台の水平回転方向の左右 200° の位置を 16 個の LED で表示します。

右約 180° 以上 200° では、180° が点滅し、その左側の LED が点灯します。

左約 180° 以上 200° では、180° が点滅し、その右側の LED が点灯します。



⑫ IRIS インジケーター

現在選択されている回転台システムのレンズアイリスのポジションを 6 段階 (CLOSE → OPEN) で表示します。

⑬ ZOOM インジケーター

現在選択されている回転台システムのレンズズームのポジションを 6 段階 (WIDE → TELE) で表示します。

⑭ FOCUS インジケーター

現在選択されている回転台システムのレンズフォーカスのポジションを 6 段階 (NEAR → FAR) で表示します。

⑮ OPTION SW [A ~ H]

メニュー設定で OPTION SW A ~ H に、「NOT USE」、「DEF」、「WIP」、「HEATER/FAN」、「LAMP」、「OPTION」、「ND」、「EXT」、「AF」の機能を割り当てることができます。

⑯ HOME ボタン

HOME ボタンを押すと、回転台、ロールユニットのホームポジションに移動します。

⑰ LCD CONTRAST ボリューム

LCD パネルのコントラストを調整します。

各部の名称とはたらき

18 MEMORY ボタン

MEMORY ボタンを押しながら、PRESET MEMORY 選択ボタン (19) ([1] ~ [50]) を押すと回転台システムの設定内容を、その PRESET MEMORY 選択ボタンに登録することができます。

また、CONTROL SELECT ボタン (24) で選択している回転台が接続されていなかったり、電源が入っていない場合は、MEMORY ボタンが点滅します。

19 PRESET MEMORY 選択ボタン [1] ~ [50]

登録されている設定内容呼び出します。

トレーシングメモリー時には、記録/再生時間表示を表示します。

20 LCD パネル

現在の設定状況を表示します。

21 MENU/LIMIT ボタン

MENU/LIMIT ボタンを 2 秒以上押し続けると、設定メニューの ON/OFF を行います。

また、MENU/LIMIT ボタンを押しながら、PRESET MEMORY 選択ボタン (19) [5]、[10]、[15]、[20]、[25]、[30] を押すと、リミッターの ON/OFF 制御が行えます。

22 CONT ダイアル

設定メニューの操作に使用します。

23 TALLY ランプ [1] ~ [5]

背面の TALLY/INCOM 端子 (31) [1] ~ [5] にタリー信号が入力されたときに、端子に対応した番号のランプが点灯します。

また、本機にリモートオペレーションパネル (AW-CB400) が接続された場合、AW-CB400 のタリー端子 [1] ~ [5] にタリー信号が入力されたときも、端子に対応した番号のランプが点灯します。

24 CONTROL SELECT ボタン [1] ~ [5]

[1] から [5] のボタンを押すことにより、背面の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD 端子 (34) [P1] ~ [P5] を選択できます。選択された番号のボタンが点灯し、選択された回転台システムが制御できます。

本機の MONI SEL OUT 端子 (35) とケーブル補償器 (AW-RC400) の MONI SEL IN 端子を接続した場合、AW-RC400 の MONI1 端子または、MONI2 端子へ選択したカメラ映像を出力できます。

- AW-RP400 が 2 台接続された場合は、モニター出力を選択するコントローラーの組み合わせをメニューで設定できます。

25 ANOTHER CONTROL ランプ [1] ~ [5]

AW-RP400 を 2 台接続した場合、他方の AW-RP400 が選択している回転台システムの番号を表示します。

26 TRACING MEMORY [START POINT, START, STOP, RESTORE, RESET, 1 ~ 10] ボタン

トレーシングメモリーの操作に使用します。操作方法はトレーシングメモリーの項をご参照ください。

27 SPEED CONTROL ボリューム

[ZOOM/FOCUS/PAN/TILT/ROTATION]

回転台、レンズ、ロールユニットの制御スピードを調整できます。

ボリュームは、反時計方向に絞り込むことで、ジョイスティックなどを制御しても回転台/レンズが動作しないようにすることができます。

28 PAN/TILT レバー / ROTATION コントロールスイッチ

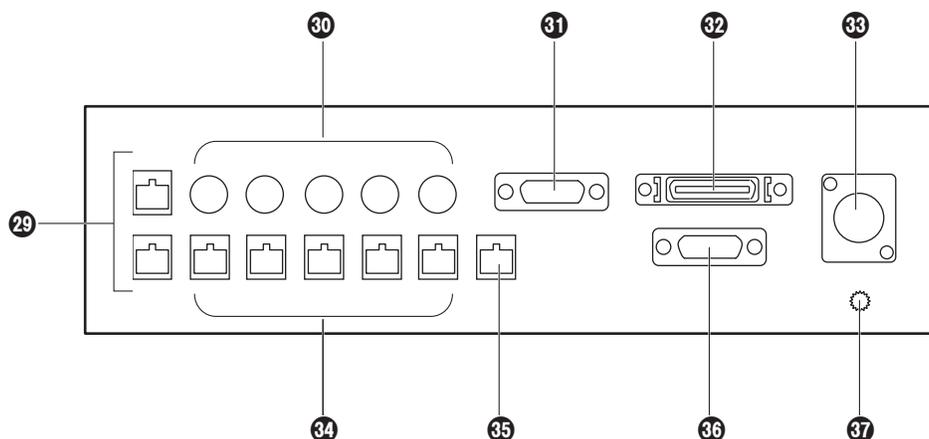
回転台の向きを調整します。

L/R 方向に倒すと回転台の向きが左右方向に動作し、UP/DOWN 方向に倒すと上下方向に動作します。

レバーを倒す角度により動作スピードを調整できます。また、レバー前部にある ROTATION コントロールスイッチでロールユニット (AW-RL400) の角度を調整できます。ROTAITION コントロールスイッチの上部を押すと時計回り、下部を押すと反時計回りに動作します。また、押す強さによって回転のスピードが変わります。

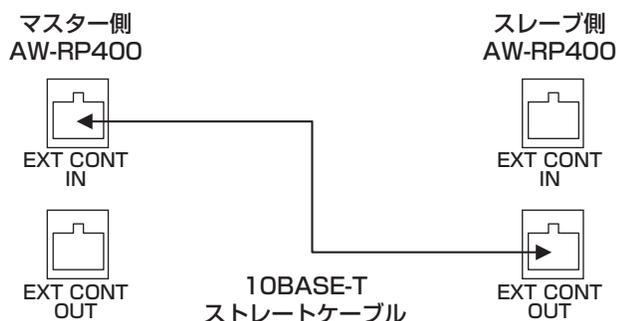
各部の名称とはたらき

■ 背 面



29 EXT CONT IN/OUT 端子

AW-RP400 をもう 1 台増設する場合に、AW-RP400 間を 10BASE-T (UPT カテゴリー 5 相当) のストレートケーブルで接続してください。



30 CAMERA CONTROL IN FROM RCB [P1] ~ [P5] 端子

リモートコントロールボックス (WV-CB700A) を接続します。

WV-CB700A を接続したポートに対応した回転台に搭載しているカメラを制御できます。

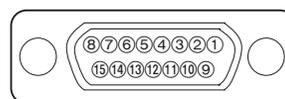
WV-CB700A を 1 台でも接続した場合には、リモートオペレーションパネル (AW-CB400) を接続しても AW-CB400 からはカメラを制御できません。

31 TALLY/INCOM 端子

ビデオスイッチャー等の TALLY 端子および、INCOM 端子と接続します。

TALLY 入力端子が GND レベルになると、コントローラーや、回転台の TALLY ランプが点灯します。

TALLY 端子には、5 V 以上の電圧を与えないでください。



AW-RP400 を背面から見たときのピン配置

ピン No.	信号名
1	TALLY1
9	TALLY2
2	TALLY3
10	TALLY4
3	TALLY5
11	TALLY GND
4	---
12	---
5	---
13	---
6	MIC +
14	MIC -
7	INCOM GND
15	SP -
8	SP +

タリー・インカムをシステムと接続する場合は、付属のプラグ (D-SUB 15 ピン) を使用してください。INCOM 端子には 4 線式の INCOM システムを接続してください。

本機をもう 1 台増設した場合や、リモートオペレーションパネル (AW-CB400) を接続した場合、どれか 1 台にタリー・インカムを接続すれば、すべての機器のタリー、インカムが機能します。

各部の名称とはたらき

③② REMOTE 端子

パーソナルコンピューターなど外部機器から回転台システムを制御するとき外部機器を接続します。
パーソナルコンピューターとは、RS-232C ケーブル (AW-CA50T9) で接続します。

③③ DC 12V IN 端子

AC アダプター (AW-PS505A ; 別売) を接続します。

③④ CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD

[P1] ~ [P5] 端子

屋内回転台 (AW-PH400) の IP/RP 端子に 10BASE-T (UPT カテゴリー 5) 相当のストレートケーブルで接続してください。最大 500 m まで延長できます。

③⑤ MONI SEL OUT 端子

ケーブル補償器 (AW-RC400) の MONI SEL OUT 端子と 10BASE-T (UPT カテゴリー 5 相当) のストレートケーブルで接続してください。
AW-RP400 が選択しているシステムの映像をケーブル補償器 (AW-RC400) の MONITOR1 端子から、リモートオペレーションパネル (AW-CB400) が選択しているシステムの映像を MONITOR2 端子からモニターできます。
AW-RP400 を 2 台接続している場合は、MASTER 側の AW-RP400 で選択しているシステムの映像を AW-RC400 の MONITOR1 端子から、SLAVE 側の AW-RP400 で選択しているシステムの映像を MONITOR2 端子からモニターできます。

③⑥ CAMERA CONTROL IN FROM ROP 端子

リモートオペレーションパネル (AW-CB400) に同梱されている接続ケーブルで、AW-CB400 を接続します。
AW-CB400 から回転台に搭載したカメラをコントロールできるようになります。

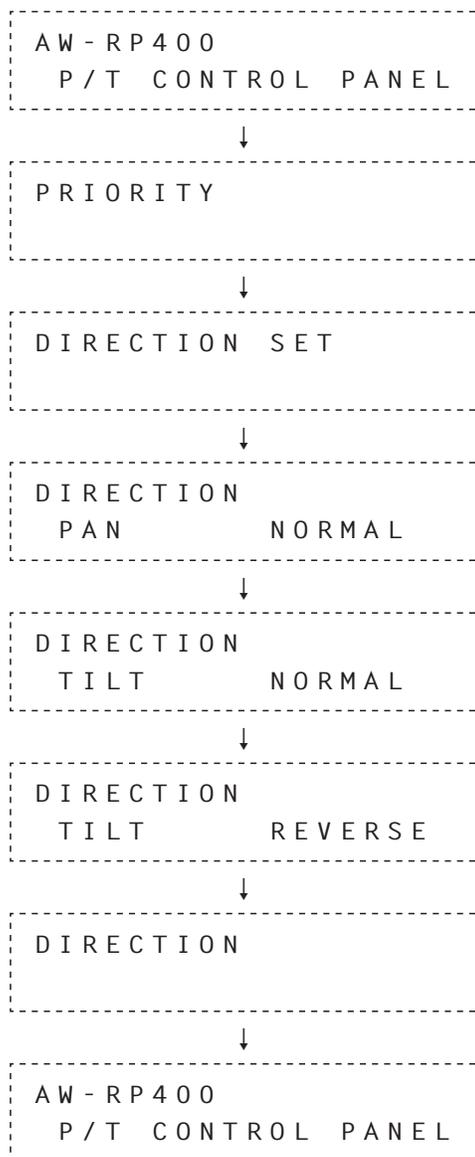
③⑦ アース端子

アースに接続してください。

メニュー設定

■ 操作方法

- ① MENU/LIMIT ボタンを 2 秒以上押すと、設定項目が表示されます。
- ② LCD 表示の下段に表示がない場合、CONT ダイアルを回すと設定項目を選択できます。
- ③ CONT ダイアルを押すと、下段に設定内容が表示されます。詳細項目がある場合は、ダイアルを押す毎に下段の詳細項目が切り替わります。
- ④ 設定内容が表示されているとき、CONT ダイアルを回すと設定内容を変更することができます。
- ⑤ CONT ダイアルを押していき、詳細項目が終わると下段の表示が消え、再び設定項目の選択が可能になります。
- ⑥ 設定メニューを終了する場合は、MENU/LIMIT ボタンを 2 秒以上押します。
LCD 下段の詳細項目表示があっても、MENU/LIMIT ボタンを 2 秒以上押すことにより、メニューは終了します。



メニュー設定

■ メニュー設定項目一覧

設定項目	詳細項目	詳細内容	初期値
PRIORITY		MASTER, SLAVE	MASTER
DIRECTION	PAN	NORMAL, REVERSE	NORMAL
	TILT		
	ZOOM		
	FOCUS		
	IRIS		
	ROTATION		
TILT RANGE		190°, 300°	190°
SPEED WITH ZOOM POS.		OFF, 1, 2, 3	OFF
MEMORY LENGTH		60s, 120s, 300s, 600s	60s
PRESET SPEED		1 ~ 25	25
IRIS CONTROL		BOTH, RP400, CB400	BOTH
ROTATION SWITCH		ROTATION, FOCUS, ZOOM, IRIS	ROTATION
OPTION SWITCH	A	NOT USE, DEF, WIP, HEATER/FAN, LAMP, OPTION, ND, EXT, AF	NOT USE
	B		
	C		
	D		
	E		
	F		
	G		
	H		
CONTROL SELECT MODE		INTERLOCK, UN-INTERLOCK	INTERLOCK
BUZZER		OFF, ON	ON
AUTO RUN	START No.	1 ~ 50	1
	END No.	1 ~ 50	50
	INTERVAL	1s ~ 30s	1s
	OPERATE	STOP, RUN	STOP
SD CARD		STORE, LOAD	---

PRIORITY (MASTER/SLAVE)

本機を2台接続したとき、CONTROL SELECT ボタンの優先順位を設定します。

MASTER に設定すると、マスター側の AW-RP400 が優先となり、SLAVE にすると、スレーブ側の AW-RP400 が優先となります。

優先順位の低い AW-RP400 が選択している回転台を、優先順位の高い AW-RP400 が選択した場合、優先順位の低い AW-RP400 の CONTROL SELECT ボタンが点滅し、コントロール権を失ったことを表示します。本設定は、マスター側の AW-RP400 で設定します。

メニュー設定

DIRECTION 設定 (PAN、TILT、ZOOM、FOCUS、IRIS、ROTATION: NORMAL/REVERSE)

レバーやダイヤルを操作したときの、PAN、TILT、ZOOM、FOCUS、IRIS、ROTATION の動作方向を、好みによって設定します。

- PAN** : NORMAL にすると、PAN/TILT レバーを LEFT 側へ倒したときに回転台が左方向へ動作し、RIGHT 側へ倒したときに右方向へ動作します。REVERSE にすると、逆方向に動作します。
- TILT** : NORMAL にすると、PAN/TILT レバーを UP 側へ倒したときに回転台が上方向へ動作し、DOWN 側へ倒したときに下方向へ動作します。REVERSE にすると、逆方向に動作します。
- ZOOM** : NORMAL にすると、ZOOM レバーを TELE 側へ倒したときにレンズズームが望遠側へ動作し、WIDE 側へ倒したときに広角側へ動作します。REVERSE にすると、逆方向に動作します。
- FOCUS** : NORMAL にすると、FOCUS ダイヤルを時計方向へ回したときにレンズフォーカスが遠距離側へ動作し、反時計方向へ回したときに近距離側へ動作します。REVERSE にすると、逆方向に動作します。
- IRIS** : NORMAL にすると、IRIS ダイヤルを時計方向へ回したときにレンズ絞りがオープン側へ動作し、反時計方向へ回したときにクローズ側へ動作します。REVERSE にすると、逆方向に動作します。
- ROTATION** : NORMAL にすると、ROTATION コントロールスイッチの上部を押したときに、時計回りに動作し、下部を押したときに反時計回りに動作します。REVERSE にすると、逆方向へ動作します。

TILT RANGE 設定 (190°/300°)

屋内回転台 (AW-PH400) のチルト動作範囲を設定します。

通常は、190° でご使用ください。

SPEED WITH ZOOM POS. 設定 (OFF/1/2/3)

OFF の場合、ズームの位置によって PAN、TILT のスピードは変化しません。

1 ~ 3 にすると、ズームが望遠側になるに従い、回転台の PAN/TILT の動作を遅くし、望遠側でも PAN/TILT の位置あわせをしやすくなります。

設定の数字が大きいくほど、望遠側での PAN/TILT のスピードが遅くなり、高倍率のズームレンズでの位置あわせがしやすくなります。

PRESET SPEED 設定 (1 ~ 25)

プリセットメモリー再生時、プリセット位置までの移動スピードを 25 段階で設定します。

設定値を大きくするとプリセット位置までの移動スピードが速くなり、小さくすると遅くなります。

IRIS CONTROL 設定 (BOTH /RP400/CB400)

本機に、リモートオペレーションパネル (AW-CB400) を接続したとき、レンズアイリスの調整をどちらのコントローラーで行うかを設定します。

BOTH にすると、AW-RP400、AW-CB400 双方からレンズ絞りを制御できます。RP400 にすると、AW-RP400 からの制御のみ有効となり、CB400 にすると AW-CB400 からの制御のみ有効となります。

ROTATION SWITCH 設定 (ROTATION/FOCUS/ZOOM/IRIS)

ROTATION スイッチで制御する機能を「ROTATION」、「FOCUS」、「ZOOM」、「IRIS」から選択することができます。

メニュー設定

OPTION A ~ H 設定

(NOT USE / DEF / WIP / HEATER/FAN / LAMP / OPTION / ND / EXT / AF)

OPTOIN ボタン A ~ H に、以下の機能を割り当てることができます。また回転台ごとに別々の機能を割り当てることができます。

- NOT USE** : ボタンは無効となります。
- DEF** : デフロスター機能がある回転台システムを使用している場合、デフロスター機能の ON/OFF を制御します。
ボタンを押す毎に ON/OFF が切り替わります。
デフロスターが ON のとき、割り当てたボタンが点灯し、OFF のとき消灯します。
- WIP** : ワイパー機能のある回転台システムを使用している場合、ワイパー機能の ON/OFF を制御します。
ボタンを押す毎に ON/OFF が切り替わります。
ワイパーが ON のとき、割り当てたボタンが点灯し、OFF のとき消灯します。
- HEATER/FAN** : ヒーター／ファン機能のある回転台システムを使用している場合、ヒーター／ファンの ON/OFF を制御します。
ボタンを押す毎に ON/OFF が切り替わります。
ヒーター／ファンが ON のとき、機能を割り当てたボタンが点灯し、OFF のとき消灯します。
- LAMP** : ランプコントロール機能のある回転台用 AC アダプターを使用している場合、AC アダプターのランプ用 AC アウトレットの電源の ON/OFF を制御します。
ボタンを押す毎に ON/OFF が切り替わります。
ランプが ON のとき、機能を割り当てたボタンが点灯し、OFF のとき消灯します。
ON したときランプ切れの場合は、点滅します。
- OPTION** : オプションスイッチコントロール機能のある回転台用 AC アダプターを使用している場合、AC アダプターの OPTION CONTROL OUT 端子の短絡／開放を制御します。
ボタンを押す毎に短絡／開放が切り替わります。
短絡したときは、割り当てたボタンが点灯し、開放したとき消灯します。
- ND** : ND フィルター付きのレンズを使用している場合、ND フィルターの ON/OFF を制御します。
ボタンを押す毎に ON/OFF が切り替わります。
ND フィルターが ON のとき割り当てたボタンが点灯し、OFF のとき消灯します。
- EXT** : エクステンダー付きのレンズを使用している場合、エクステンダーの ON/OFF を制御します。
ボタンを押す毎に ON/OFF が切り替わります。
エクステンダーが ON のとき割り当てたボタンが点灯し、OFF のとき消灯します。
- AF** : オートフォーカス機能付きのレンズを使用している場合、オートフォーカス機能の ON/OFF を制御します。
ボタンを押す毎に ON/OFF が切り替わります。
オートフォーカスが ON のとき、割り当てたボタンが点灯し、OFF のとき消灯します。

MEMORY LENGTH 設定 (60s/120s/300s/600s)

トレーシングメモリーの記録時間とメモリー数を設定します。

- 60s** : 60 秒 × 10 メモリー
- 120s** : 120 秒 × 5 メモリー
- 300s** : 300 秒 × 2 メモリー
- 600s** : 600 秒 × 1 メモリー

- トレーシングメモリーがすでに登録されている場合は、記録時間とメモリー数の設定は変更できません。
設定し直す場合は、登録済みのトレーシングメモリーを消去してから行ってください。

メニュー設定

CONTROL SELECT MODE 設定 (INTERLOCK/UN-INTERLOCK)

本機にリモートオペレーションパネル (AW-CB400) を接続した場合、回転台、カメラの選択方法を選択します。

INTERLOCK : AW-RP400 と AW-CB400 のどちらか一方で、回転台・カメラシステムを選択すると、AW-RP400、AW-CB400 と同じシステムが選択されます。

UN-INTERLOCK : AW-RP400 と AW-CB400 それぞれ、別の回転台・カメラシステムを選択できます。

- AW-RP400 を 2 台接続した場合、設定にかかわらず INTERLOCK 固定となります。

BUZZER 設定 (ON/OFF)

コントローラーに内蔵されているブザーの ON/OFF を設定します。OFF に設定するとブザーが鳴りません。

ブザーは、CALL ボタンが押されたときや、トレーシングメモリー操作 (記録・再生・修正) の開始・中断・終了のときに鳴ります。

AUTO RUN 設定 (START No., END No., INTERVAL)

回転台のプリセットを自動的に繰り返すことができます。

START No. (1 ~ 50) : 繰り返すプリセットの最初の番号を設定します。

END No. (1 ~ 50) : 繰り返すプリセットの最後の番号を設定します。

INTERVAL (1s ~ 30s) : プリセット位置での停止時間を設定します。停止時間は、1 秒単位で 30 秒まで設定できます。

OPERATE (STOP/RUN) : RUN にすると、START No. から STOP No. のプリセットを繰り返し再生し、STOP にすると、停止します。

また、PAN/TILT レバーを動かすと、自動的に STOP になり停止します。

SD CARD 設定

回転台に AW-PH400 を使用した場合のみ、本機のメニュー設定情報、回転台のプリセットメモリー情報、およびカメラの設定情報を SD メモリーカードへ保存することができます。

STORE を表示させているときに、MENU ボタンを押すと、表示が EXECUTE に変わり、SD メモリーカードに各種設定を保存します。EXECUTE の表示が消えると終了です。

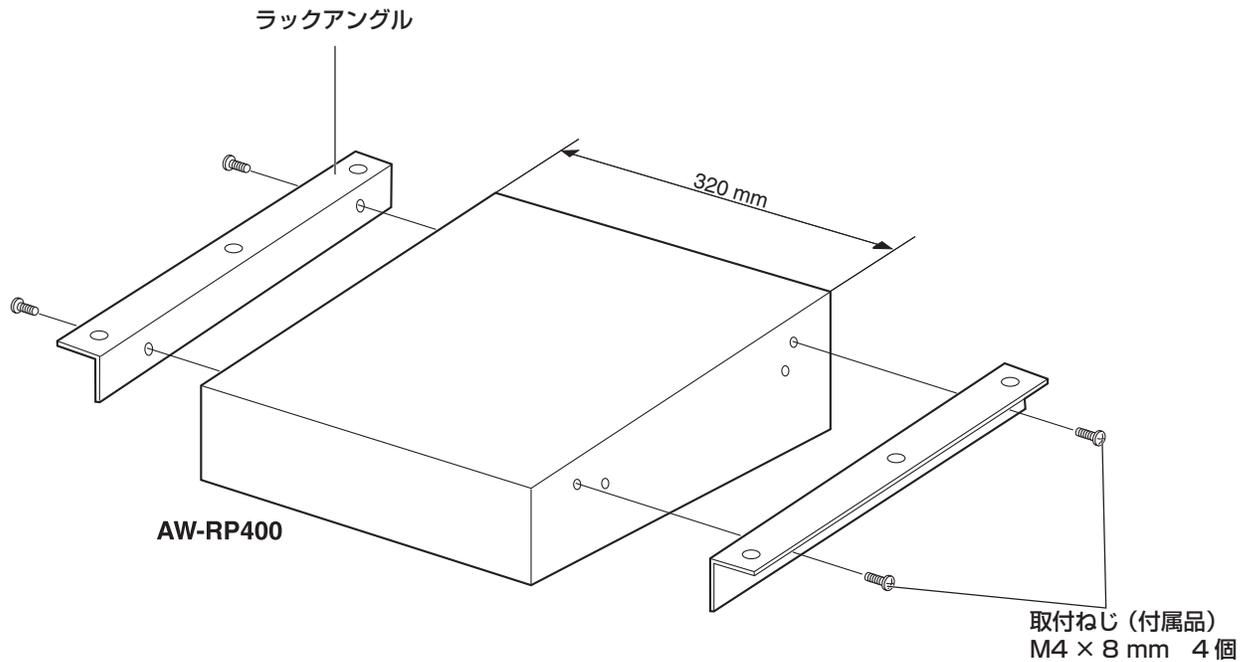
LOAD を表示させているときに、MENU ボタンを押すと、表示が EXECUTE に変わり、SD メモリーカードの保存内容を呼び出し、本機、回転台、カメラへ設定をロードします。EXECUTE の表示が消えると終了です。

- SD カードは本機専用とし、パーソナルコンピューターやデジタルカメラなど他の機器では使用しないでください。
- EXECUTE が表示されているときには、SD カードを抜いたり、電源を切ったり、OPERATE スイッチを OFF したりしないでください。
- トレーシングメモリーの情報は保存されません。
- AW-PH400 以外の回転台を使用した場合は、設定情報を保存することができません。

ラックマウントのしかた

- <ご注意>
- AW-RP400の横幅は320 mmです。フルラックサイズ(収納横幅420 mm)のラックに収納する場合には、横幅の不足分に相当するパネル等をご用意ください。
 - リモートオペレーションパネル (AW-CB400) と連結することにより、フルラックサイズ (横幅420 mm) となります。

① 付属の取付ねじ (M4 × 8mm) を使ってラックアングルを取り付けます。

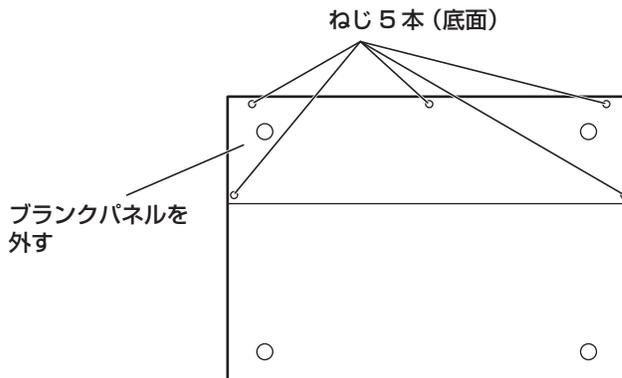


コネクターパネルの位置の換えかた

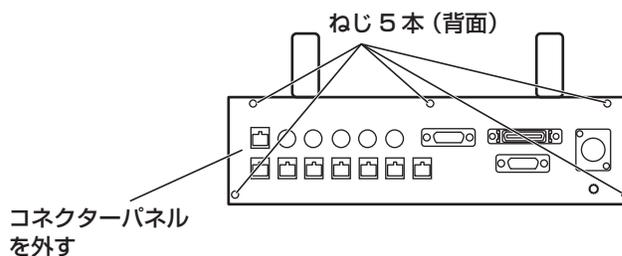
コネクターパネルの位置を背面から底面に變えることができます。

※電源を切った状態で行ってください。

① 底面のねじ 5 本を外して、ブランクパネルを外します。

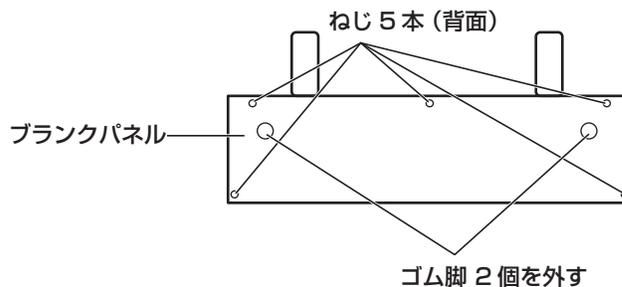


② 背面のねじ 5 本を外して、コネクターパネルを外します。

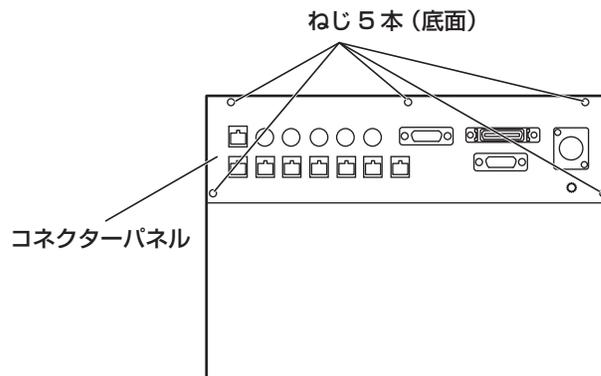


③ 背面にブランクパネルをねじで固定します。

④ ブランクパネルのゴム脚 2 個を外します。



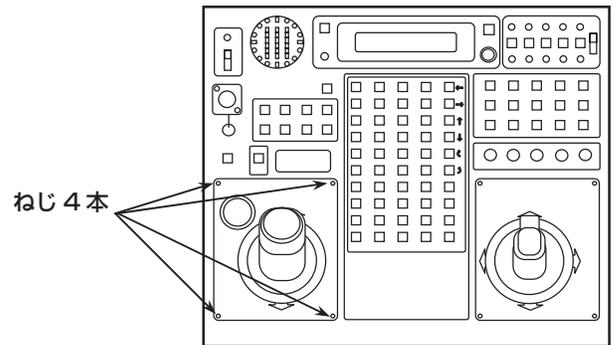
⑤ コネクターパネルを底面にねじで固定します。



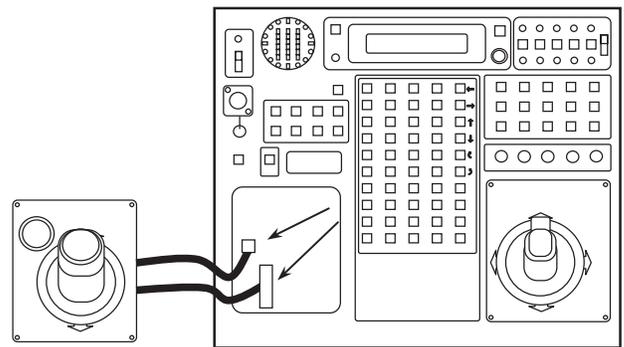
ズームスイッチの交換のしかた

※交換は、電源を切った状態で行ってください。

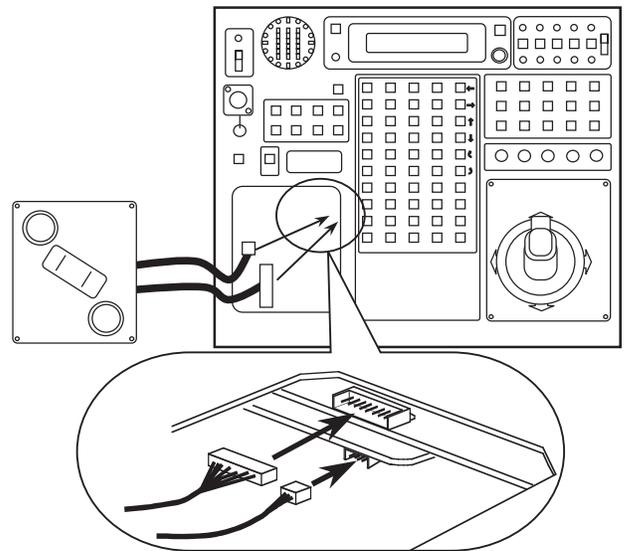
① ズームレバーを固定しているねじ 4 本を外します。



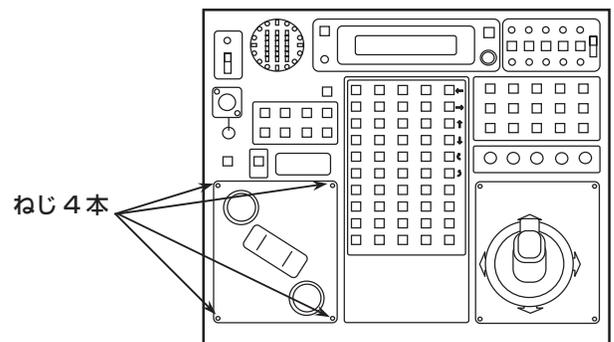
② ズームレバーを引き出し、ケーブル 2 本を内部の基板から取り外し、ズームレバーを取り外します。



③ ズームスイッチから伸びているケーブル 2 本を内部の基板上的コネクタに差し込みます。



④ ねじ 4 本でズームスイッチを固定します。



消耗品の交換

ジョイスティック、ズームスイッチは消耗品です。

動作に支障が出る場合は、交換してください。

交換は、販売店に依頼してください。

定 格

電源電圧：	DC 12 V
消費電力：	約 13 W

 は安全項目です。

入力端子

DC12V IN : XLR 4 ピン

CONTROL IN FROM ROP : D-SUB 29 ピン
リモートオペレーションパネル (AW-CB400) 付属ケーブル

CONTROL IN FROM RCB : 10 ピン丸型コネクタ
リモートコントロールボックス (WV-CB700A) 付属ケーブル

EXT CONT IN : RJ45 増設用 AW-RP400 コントロール信号入力
10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5)、最大 500 m

REMOTE : 50 ピン D-SUB コネクタ 外部コントロール入力
RS-232C ケーブル (AW-CA50T9)

出力端子

CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD : RJ45 回転台制御信号出力
10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5)、最大 500 m

MONI SEL OUT : RJ45 モニター切換信号出力
10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5)、最大 50 m

EXT CONT OUT : RJ45 増設用 AW-RP400 コントロール信号出力
10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5)、最大 500 m

入出力端子

INCOM (天面) : XLR 4 ピン

TALLY/INCOM : D-SUB 15 ピン
TALLY : 接点入力 (5V 以上の電圧は入力しないでください)
INCOM : 4 線式

スイッチ機能

: マスター/スレーブ切替、OPERATE コントロール、ホームポジション、メニュー/リミッター切替、オプション機能操作、回転台選択、レンズ絞り AUTO/MANU/LOCK 切替、プリセットメモリー操作、トレーシングメモリー操作、コール

調整機能

: LCD コントラスト、インカムレベル、レンズ絞り、ズーム、フォーカス、パン/チルト/ローテーション、ズームスピード、フォーカススピード、パンスピード、チルトスピード、ローテーションスピード、メニュー設定

動作周囲温度 : - 10 °C ~ + 45 °C

保存温度 : - 20 °C ~ + 60 °C

動作周囲湿度 : 30 % ~ 90 % (結露なし)

外形寸法 (幅×高さ×奥行) : 320 × 85 × 266 mm

質 量 : 約 3.8 kg

仕上げ : マンセル N3.5 近似色塗装

概要

- アナログコンポジット、アナログY/C、アナログコンポーネントのいずれかの信号を5チャンネル、最大500 m (5C-2V 相当使用時) までケーブル補償することができます。
- 本ケーブル補償器とカメラ間の同軸ケーブルが500 m以上のシステム (別にケーブル補償器が必要) にも容易に対応できるように、同期信号の5 μ s アドバンス機能を装備しております。

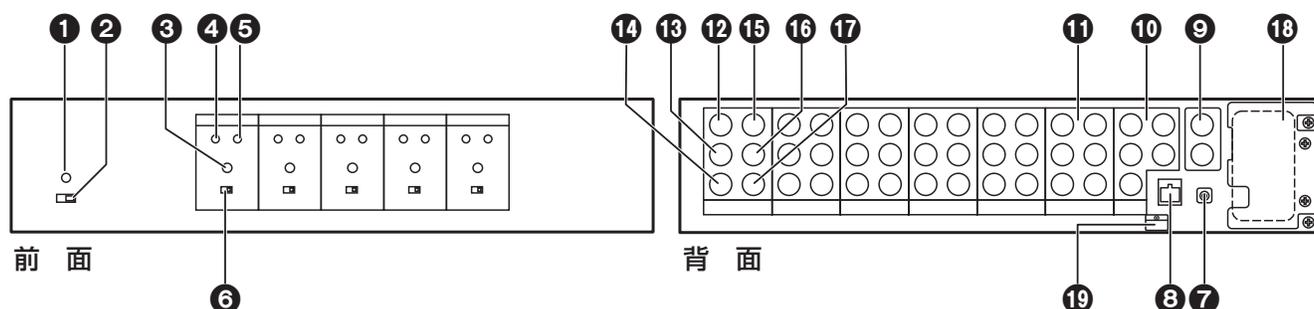
ご注意

- ケーブル補償器 (AW-RC400) の同期信号入力端子へ同期信号を入力するか、映像の1チャンネルに映像信号 (映像入力コネクタの1に、コンポジット信号またはY信号 SYNC 付き) を入力してください。どちらかに信号を入力しないと、モニター選択制御が動作しません。
- AW-RC400 は、1つの調整器でY、Pr、Pbの3チャンネルをケーブル補償しております。従ってY、Pr、Pb信号個別の調整はできません。Y、C信号についても同様に個別の調整はできません。
- AW-RC400 はケーブル補償器であり、信号変換機能 (コンポーネント信号からコンポジット信号への変換等) は搭載しておりません。
- 本機のご使用を終え廃棄される時は、環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

付属品

ラックアングル	2
取付ねじ (M4 × 8 mm)	4

各部の名称とはたらき



① 電源表示 LED

DC 12 V IN 端子 (7) に DC 12 V が入力されているときに、POWER スイッチ (2) を [ON] にすると、緑色に点灯します。

② POWER スイッチ

[ON] にすると、ケーブル補償器の電源が入ります。電源スイッチが [OFF] の場合も電源回路の一部は動作しています。完全に [OFF] する場合は、AC アダプターを外してください。

③ ケーブル長設定スイッチ [0 ~ 5]

接続される同軸ケーブルの長さに合わせて設定します。[0] はケーブル補償量が最小で、[5] がケーブル補償量最大となります。同軸ケーブルの長さが 100 m の場合は [1]、200 m の場合は [2] を目安に設定してください。

④ Y LEVEL ボリューム

ケーブル補償出力信号 (映像出力) の出力レベルを調整します。

⑤ F RESPONSE ボリューム

ケーブル補償出力信号のケーブル補償量 (周波数特性の補償) を調整します。

⑥ SHORT/LONG 切換スイッチ

通常は [SHORT] でご使用ください。カメラからの同軸ケーブルが長く、カメラの同期調整範囲が不足する場合、またはカメラからの同軸ケーブル (5C-2V 相当) の長さが 500 m を越えるシステム (別のケーブル補償器が必要) として使用する場合には、[LONG] に設定してください。

⑦ DC12V IN 端子

電源の入力端子です。別売の AC アダプター (AW-PS301) をご使用ください。

⑧ MONI SEL IN 端子

MONITOR1、2 端子に出力される映像信号を選択するための制御信号を入力します。回転台コントローラー (AW-RP400) の MONI SEL OUT 端子と 10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5 相当) で接続します。MONITOR1、2 端子に AW-RP400 または AW-RP400 に接続しているリモートオペレーションパネル (AW-CB400) で選択しているカメラの映像信号が出力できます。

⑨ G/L IN 端子

同期信号 (ブラックバースト信号) を入力します。内部で 75 Ω 自動終端されています。上下の端子は同仕様であり、どちらの端子に入力しても問題ありません。両方の入力端子に BNC ケーブルを接続すると (ループスルーで使用する時) 終端は外れます。

⑩ G/L OUT 端子 [1 ~ 5]

G/L IN 端子に入力されたゲンロック信号を分配して、5 台のカメラにゲンロック信号を出力できます。同期信号出力の 1 から 5 は、映像信号の 1 から 5 のチャンネルに対応させてご使用ください。映像入力端子の 1 に接続されたカメラには、同期信号出力コネクタの 1 の信号を供給します。

各部の名称とはたらき

⑪ MONITOR1, 2 端子

回転台コントローラー (AW-RP400) または AW-RP400 に接続しているリモートオペレーションパネル (AW-CB400) で選択しているカメラの映像信号が出力されます。

出力信号は、入力信号と同一タイプのケーブル補償された信号になります。例えば、コンポジット信号が入力されたチャンネルを選択した場合は、そのコンポジット信号がケーブル補償された状態で出力されます。

⑫ Y/VIDEO IN 端子 [1 ~ 5]

アナログ映像信号を入力します。内部で 75 Ω 終端されています。

Y (コンポーネント信号または Y/C 信号の Y.SYNC 付き) または VIDEO (コンポジット) 信号を入力します。

⑬ Pr/C IN 端子 [1 ~ 5]

アナログ映像信号を入力します。内部で 75 Ω 終端されています。

Pr (コンポーネント信号の R-Y) または C (Y/C 信号の C) 信号を入力します。

⑭ Pb IN 端子 [1 ~ 5]

アナログ映像信号を入力します。内部で 75 Ω 終端されています。

Pb (コンポーネント信号の B-Y) 信号を入力します。

⑮ Y/VIDEO OUT 端子 [1 ~ 5]

アナログ映像信号を出力します。入力信号に対応して、ケーブル補償された Y または VIDEO (コンポジット) 信号が出力されます。Y/VIDEO IN 端子 [1 ~ 5] に、コンポーネント Y 信号が入力された場合は Y 信号が、コンポジット信号が入力された場合はコンポジット信号が出力されます。

⑯ Pr/C OUT 端子 [1 ~ 5]

アナログ映像信号を出力します。入力信号に対応して、ケーブル補償された Pr または C 信号が出力されます。Pr/C IN 端子 [1 ~ 5] に、Pr 信号が入力された場合は Pr 信号が、C 信号が入力された場合は C 信号が、出力されます。

⑰ Pb OUT 端子 [1 ~ 5]

アナログ映像信号を出力します。Pb IN 端子 [1 ~ 5] に Pb 信号が入力された場合、ケーブル補償された Pb 信号が出力されます。

⑱ AC アダプター収納スペース

本ケーブル補償器が設置される場所の周囲温度が 30 °C 以下の場合は、AC アダプターをこの場所に収納することができます。ねじ 2 本を外し、収納スペースカバーを取り外します。AC アダプター (AW-PS301) を引き出しケーブルにストレスがかからないよう注意して収納してください。周囲温度が 30 °C を越える場合は、AC アダプターに不具合が生じますので、ここには収納しないでください。

⑲ コードクランプ

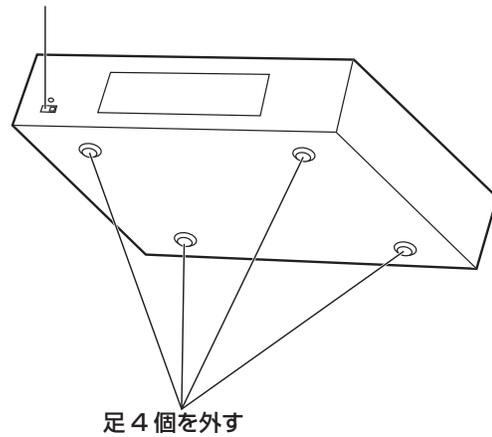
AC アダプター (AW-PS301) のケーブルをクランプし、ケーブル抜けを防止します。

ラックマウントのしかた

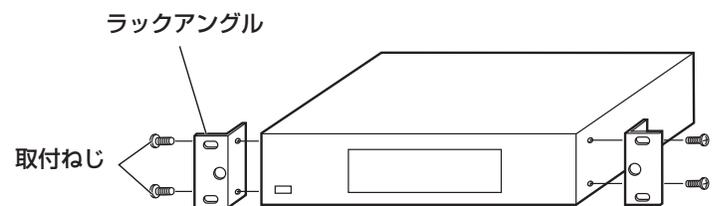
本機をラックへ取り付けるときは、付属のラックアングルと取付ねじ (M4 × 8 mm) をお使いください。

- ① POWER スイッチを [OFF] にして電源を切ります。
- ② 足 4 個を取り外してください。

POWER スイッチ



- ③ 本機の両端にラックアングルをあて、付属の取付ねじ (4 本) で固定します。



定 格

電源電圧：	DC 12 V
消費電力：	約 9 W

 は安全項目です。

入力端子

DC 12 V IN : 別売の AC アダプター (AW-PS301) を接続

G/L IN : BNC × 2、75 Ω 自動終端、ループスルー出力、ブラックバースト

VIDEO/Y, Pr/C, Pb : BNC × 3 (5 組)、75 Ω 終端
コンポジット
Y/C
コンポーネント (Y/Pr/Pb)

MONI SEL IN : RJ45
接続ケーブル 10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5)、最大 50 m

出力端子

G/L OUT : BNC × 5、75 Ω 出力、接続ケーブル 5C-2V 最大 1000 m

VIDEO/Y, Pr/C, Pb : BNC × 3 (5 組)、75 Ω 出力
コンポジット
Y/C
コンポーネント (Y/Pr/Pb)
(ケーブル補償の調整が必要)

MONITOR OUT1/2 : BNC × 3 (2 組)、75 Ω 出力

スイッチ／調整機能 : 電源 ON/OFF、ケーブル長設定 0/1/2/3/4/5、同期信号設定 SHORT/LONG、
ケーブル補償量調整、映像レベル調整

動作周囲温度 : - 10 °C ~ + 45 °C

保存温度 : - 20 °C ~ + 60 °C

動作周囲湿度 : 30 % ~ 90 % (結露なし)

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行) : 420 × 88 × 250 mm

質 量 : 約 3.7 kg

仕上げ : AV アイボリー塗装
(マンセル 7.9Y6.8/0.8 近似色)

概要

- 屋内回転台（AW-PH400）との組み合わせにより、カメラを回転させることが可能となります。

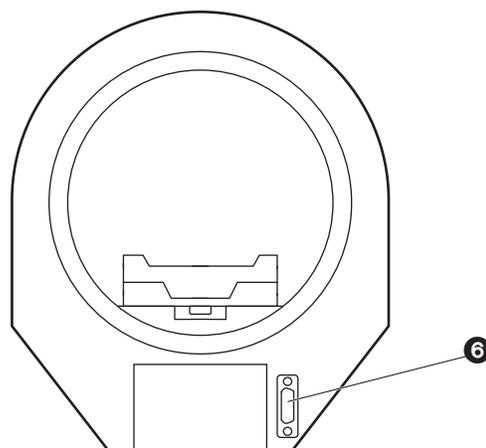
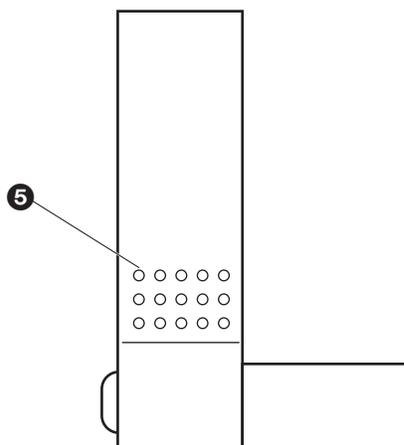
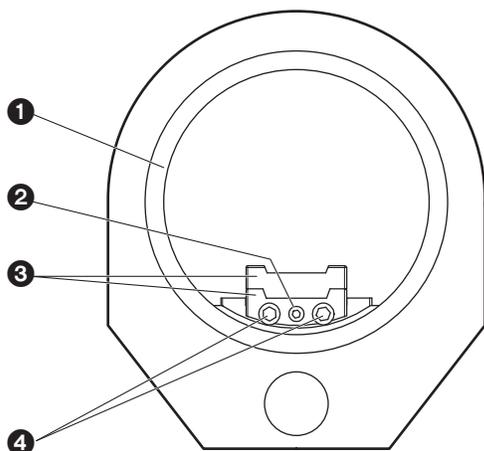
ご注意

- カメラを回転させますので、ロールユニットを動作させたときに、カメラケーブルおよびレンズケーブルなどの配線が絡まないように注意してください。
- 本機のご使用を終え廃棄されるときは、環境保全のため、専門の業者へ廃棄を依頼してください。

付属品

回転台接続ケーブル 1

各部の名称とはたらき



① 回転リング

② カメラ取付ねじ (U1/4-20UNC)

カメラを取り付け、確実に固定してください。

③ カメラ取付板 (A) (B)

カメラをカメラ取付ねじで、取り付けます。

④ カメラ取付板固定ねじ

カメラをカメラ取付板に取り付け後、ロールユニットに固定します。

⑤ ロールユニット固定ねじ穴

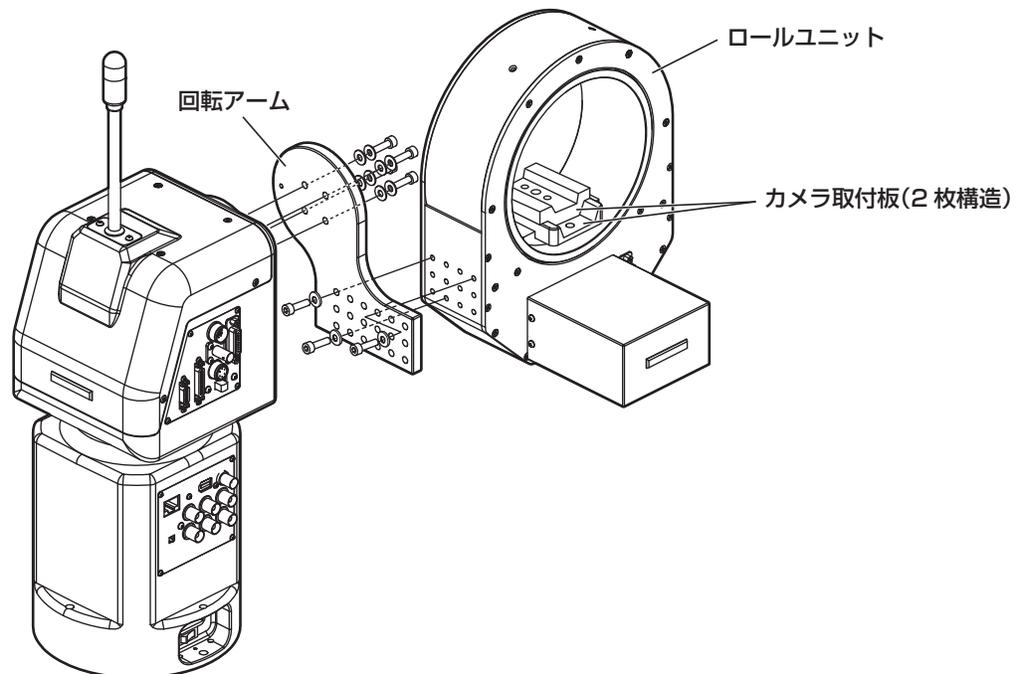
回転台の回転アームにロールユニットを固定します。

⑥ 回転台接続コネクタ

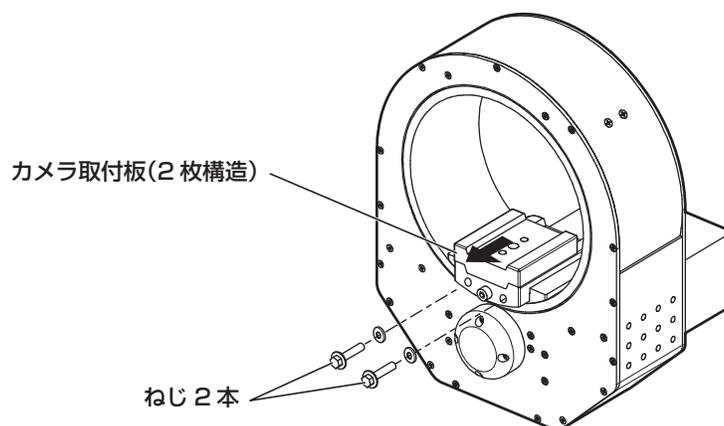
付属の回転台接続ケーブルで回転台の OPTION 端子と接続します。

取り付けかた

- ① 回転台の回転アームを、回転台に付属の取付ねじ 3 本(M5 × 22 mm:平ワッシャー付)でロールユニットに取り付けます。
- ② 回転アームを、回転台に付属の取付ねじ (M5 × 22 mm : 平ワッシャー付) で回転台に取り付けます。



- ③ ロールユニットに取り付けてあるカメラ取付板のねじ 2 本を緩めて、カメラ取付板を外します。

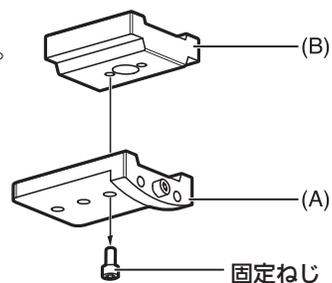


※取り付けには、付属の六角レンチやスパナ、ドライバー等の工具を使用して、確実に締め付けて固定してください。
 取り付け後、取り付けがタがないことを確認してください。

取り付けかた

④ 手順③ で外したカメラ取付板を 2 枚に分割します。

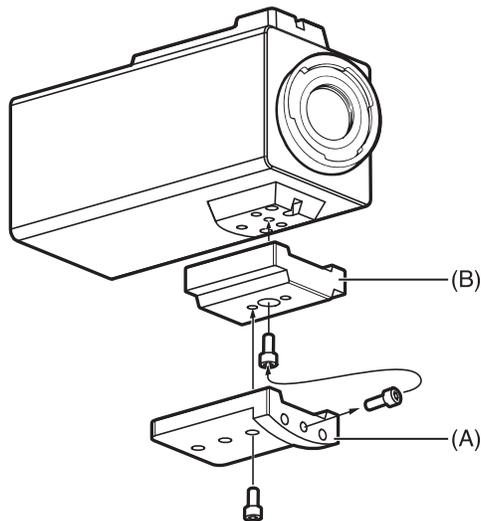
- カメラ取付板 (A) と (B) を固定しているねじをゆるめて分割します。



⑤ 手順④ で分割したカメラ取付板を、カメラ本体に取り付けます。

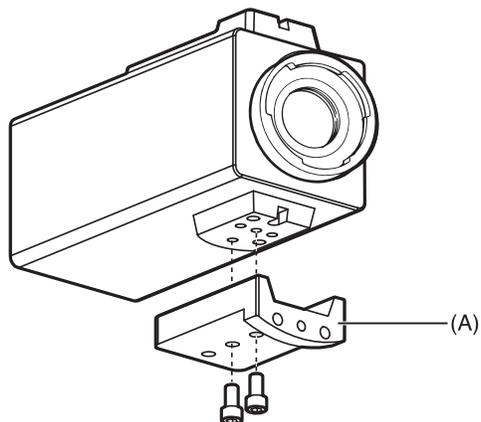
カメラが AW-E750、AW-E650、AW-E350 の場合

- (1) カメラ取付板 (A) に付いているねじを外して、そのねじでカメラ取付板 (B) を三脚取付座に取り付けます。
- (2) カメラ取付板 (A) を、カメラ取付板 (B) に取り付けます。



カメラが AW-E655 の場合

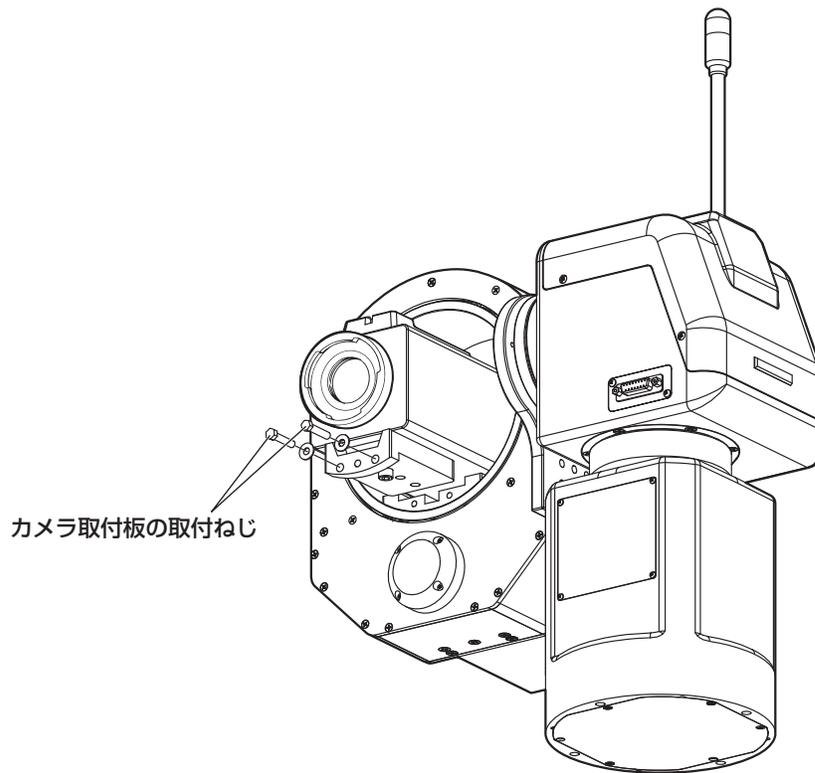
- (1) カメラ取付板 (A) を、三脚取付座にカメラ取付ねじ 2 本で取り付けます。



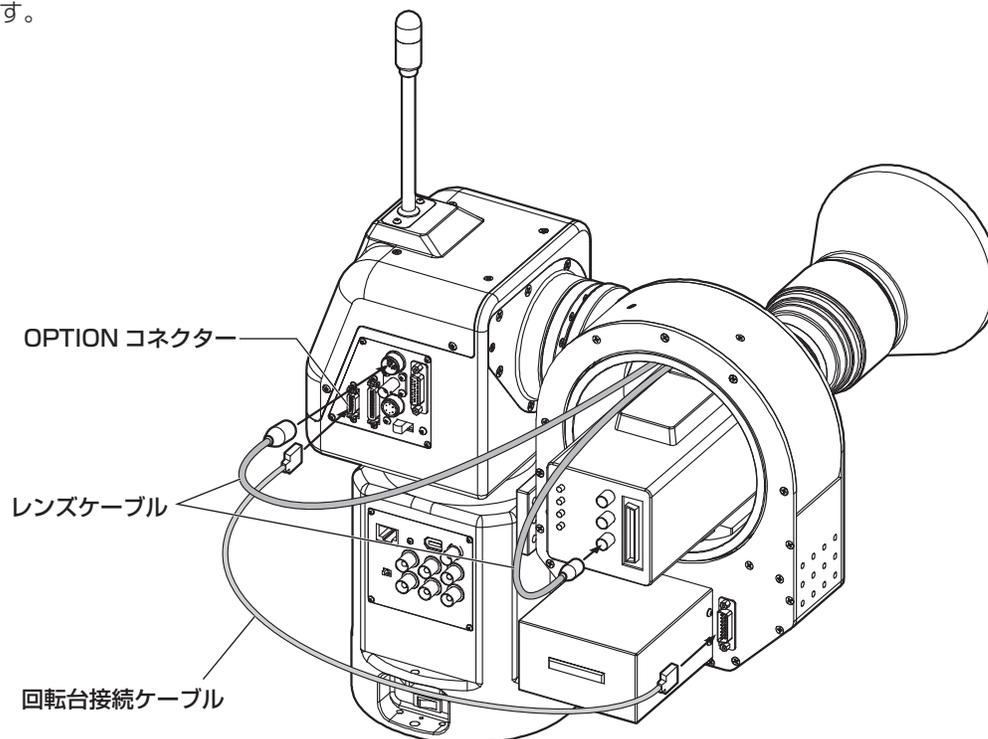
※必ず、ドライバー等の工具を使用して、確実に締め付けて固定してください。

取り付けかた

⑥ カメラ取付板を、手順③で外したときと逆の要領でロールユニットに取り付けます。



⑦ 付属の回転台接続ケーブルで回転台コネクターパネルの [OPTION] コネクターと、ロールユニットのコネクターを接続します。



⑧ ロールユニット・カメラ本体・回転台の取り付けが終了したら、最後にレンズを取り付けます。

⑨ レンズケーブルのコネクターをカメラ本体と回転台に接続します。

定 格

電源電圧：	DC 24 V
消費電力：	約 24 W

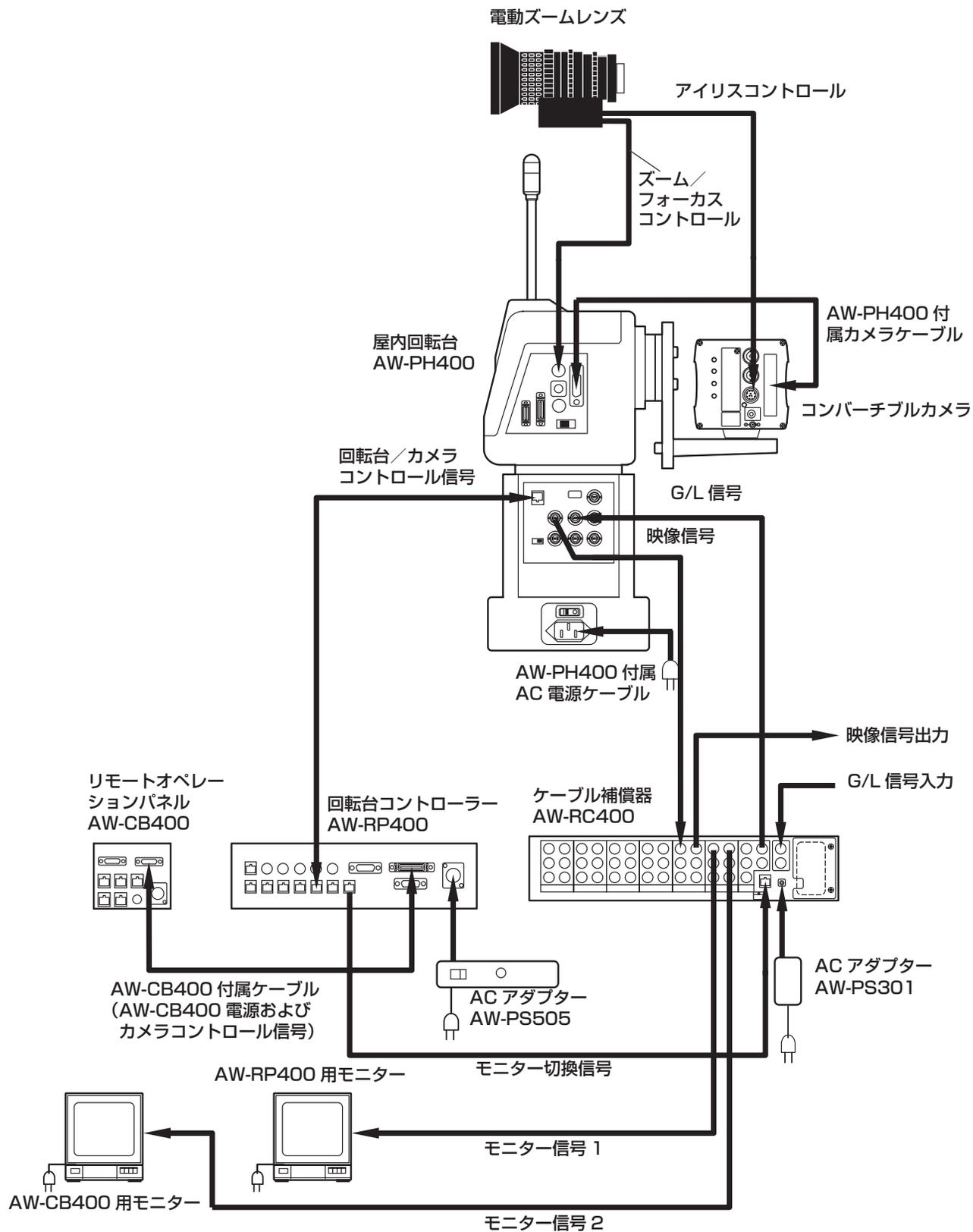
 は安全項目です。

回転台接続端子	: 付属ケーブルで回転台に接続
性能	: 最大積載質量： 4 kg (max) 回転範囲： 380° (約 ± 190°) 最大動作速度： 60 °/s リピータビリティ： ± 1° 以下
動作周囲温度	: 0 °C ~ + 45 °C
保存温度	: - 20 °C ~ + 60 °C
動作周囲湿度	: 30 % ~ 90 % (結露なし)
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	: 205 × 198 × 260 mm
質 量	: 約 3.9 kg
仕上げ	: AV アイボリー塗装 (マンセル 7.9Y6.8/0.8 近似色)

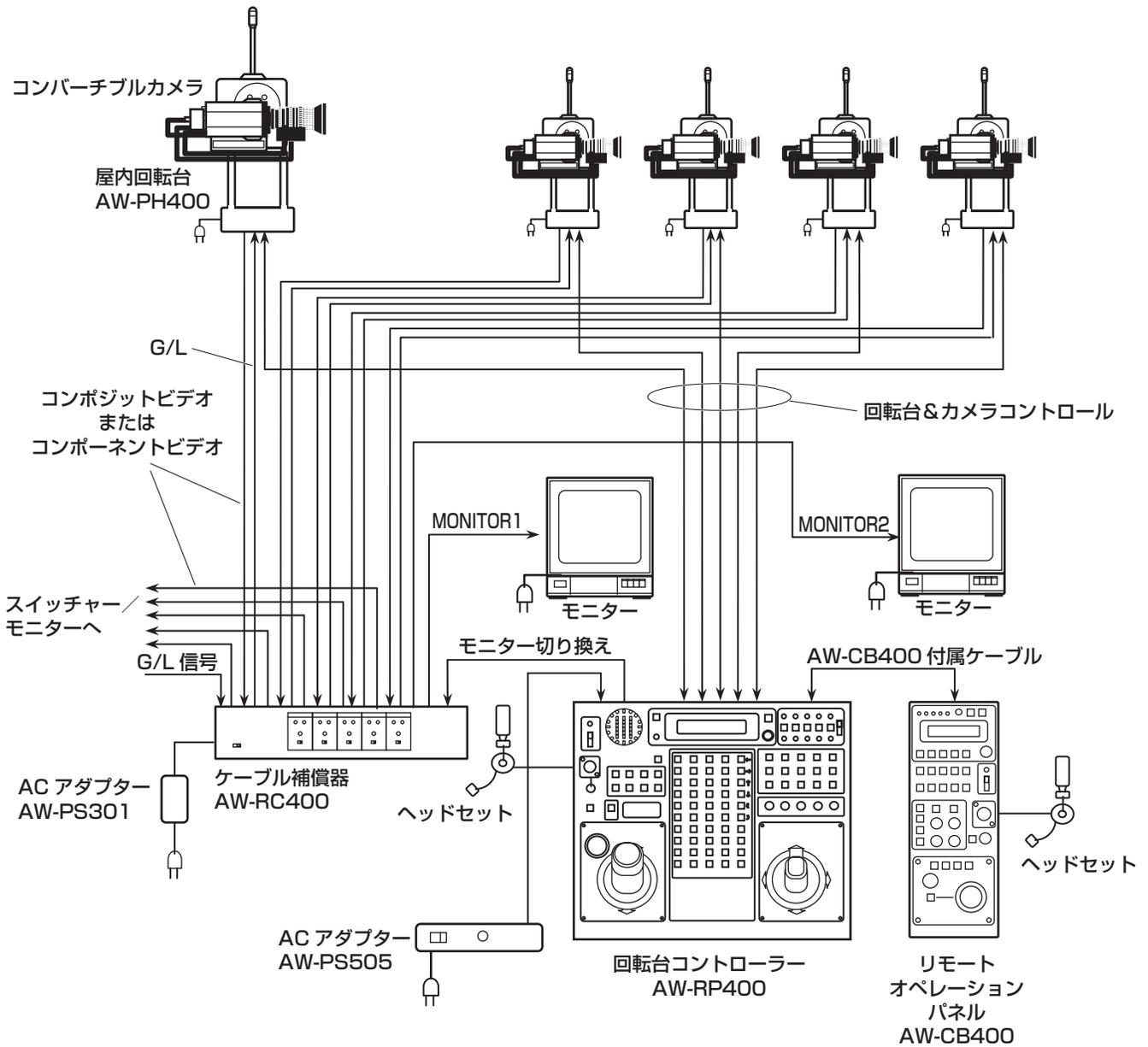
接続のしかた

- 接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。
- 回転台コントローラー (AW-RP400) の AC アダプターには AW-PS505 をご使用ください。AW-RP400 の DC 12 V IN 端子と、AW-PS505 の DC 12 V OUT 端子を AW-PS505 付属の DC ケーブルで接続します。
- 屋内回転台 (AW-PH400) には、AW-PH400 に付属の AC 電源ケーブルを接続します。
- ケーブル補償器 (AW-RC400) には、別売の AC アダプターを接続します。
- AW-RP400 の CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD (1 ~ 5) 端子と回転台の IP/RP 端子間を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UTP カテゴリー 5 相当使用時に 500 m です。
- AW-PH400 とコンバーチブルカメラを回転台付属のカメラケーブルで接続します。
- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラの IRIS 端子に、ズーム／フォーカスケーブルを回転台の LENS I/F 端子へ接続します。
- カメラのコントロールには、リモートオペレーションパネル (AW-CB400) または、リモートコントロールボックス (WV-CB700A) をご使用ください。ただし、AW-CB400 と WV-CB700A を混在して使用することはできません。
- AW-CB400 を使用する場合、AW-RP400 の CAMERA CONTROL IN FROM ROP 端子と AW-CB400 の I/F CONNECTOR 端子間に AW-CB400 に付属のケーブル (10 m) で接続します。
AW-CB400 からは 5 台のカメラが制御できます。
AW-CB400 には、このケーブルを通して AW-RP400 から電源が供給されますので、AW-CB400 に AC アダプターを接続する必要はありません。
- WV-CB700A を使用する場合、AW-RP400 の CAMERA CONTROL IN FROM RCB (1 ~ 5) 端子と、WV-CB700A の RCB 端子を WV-CB700A 付属の RCB ケーブル (2 m) で接続します。
WV-CB700A から制御できるカメラは 1 台のみです。複数台カメラがある場合は、カメラの台数分の AW-CB700A が必要です。また、制御するカメラが接続されている CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD 端子の番号と WV-CB700A を接続する CAMERA CONTROL IN FROM RCB 端子の番号を合わせる必要があります。
- AW-RP400 の MONI SEL OUT 端子と AW-RC400 の MONI SEL IN 端子を 10BASE-T ストレートケーブルで接続します。最大延長距離は、UPT カテゴリー 5 相当使用時に 50 m です。
MONI SEL 端子を接続することにより、AW-RP400 で選択しているカメラの映像信号を MONITOR1 から、また、AW-CB400 で選択しているカメラの映像信号を MONITOR2 から出力できます。
WV-CB700A を使用している場合は、MONITOR2 の切り換えはできません。
- AW-RC400 と AW-PH400 間を同軸ケーブルで接続します。
- AW-RC400 の G/L IN 端子へ信号発生器などからゲンロック信号を入力し、AW-RC400 の G/L OUT (1 ~ 5) 端子を回転台の G/L IN 端子へ接続します。
- コンポジット信号を使用する場合は、回転台の VIDEO 端子と AW-RC400 の Y/VIDEO IN 端子 [1 ~ 5] とを接続します。
そして、AW-RC400 の Y/VIDEO OUT 端子をスイッチャーやモニターへ接続します。
- Y/C 信号を使用する場合は、回転台の Y 端子、Pr/C 端子をそれぞれ AW-RC400 の Y/VIDEO IN 端子、Pr/C IN 端子へ接続します。
そして、AW-RC400 の Y/VIDEO OUT 端子、Pr/C OUT 端子をスイッチャーやモニターへ接続します。
- コンポーネント信号を使用する場合は、回転台の Y 端子、Pr/C 端子、Pb 端子をそれぞれケーブル補償器の Y/VIDEO IN 端子、Pr/C IN 端子、Pb IN 端子へ接続します。
そして、AW-RC400 の Y/VIDEO OUT 端子、Pr/C OUT 端子、Pb OUT 端子をスイッチャーやモニターへ接続します。

接続のしかた



システム構成例



操作の手順

■ 電源の投入

- ① 回転台コントローラー (AW-RP400) が 1 台の場合、AW-RP400 の EXT CONT [M/S] スイッチを [M] 側に設定します。
AW-RP400 が 2 台の場合は、回転台を接続している AW-RP400 を [M] (マスター) 側に、回転台を接続していない AW-RP400 を [S] (スレーブ) 側に設定します。
- ② 電源を入れます。
AW-RP400 用 AC アダプターの電源スイッチと屋内回転台 (AW-PH400) の AC 電源スイッチを [ON] にし、リモートオペレーションパネル (AW-CB400) の OPERATE スイッチを [ON] にしてから、AW-RP400 の OPERATE スイッチを [ON] にします。
AW-RP400 が 2 台ある場合は、AW-CB400 とスレーブ設定の AW-RP400 の OPERATE スイッチを [ON] にし、最後にマスター設定の AW-RP400 の OPERATE スイッチを [ON] にします。

■ 屋内回転台 (AW-PH400) の可動範囲 (リミッター) の設定

屋内回転台 (AW-PH400) の周辺に障害物等がある場合、動作範囲の制限 (リミッター：回転の左端、右端、上端、下端) を設定します。

また、回転台コントローラー (AW-RP400) にロールユニット (AW-RL400) が接続されている場合は、ロールユニットの動作制限 (左回り方向端、右回り方向端) も設定します。

使用する前には、必ずこの設定を行ってください。

- 出荷時、AW-PH400 は台等の上に据え置きする設定になっています。天井から吊り下げる場合は、必ず設置方向スイッチの設定を行ってください。この設定が正しく行われていないと、パン/チルトの動作方向が逆転し、回転台の動作範囲の設定 (リミッター) が正常にメモリーできません。設定方法等の詳細は、AW-PH400 の「設置方向スイッチの設定」を参照してください。

回転台コントローラー (AW-RP400) で設定します

- ① CONTROL SELECT ボタンで可動範囲 (リミッター) を設定したい回転台を選択します。
- ② 左端を設定するときは、PAN/TILT レバーで回転台を設定したい左端まで回転させます。
MENU/LIMIT ボタンを押しながら、PRESET MEMORY ボタンの [5] を押します。設定が行われると PRESET MEMORY ボタンの [45] が点灯します。
設定を解除するには、再び MENU/LIMIT ボタンを押しながら PRESET MEMORY ボタンの [5] を押します。
設定が解除されると PRESET MEMORY ボタンの [50] が点灯します。
- ③ 右端を設定するときは、PAN/TILT レバーで回転台を設定したい右端まで回転させます。
MENU/LIMIT ボタンを押しながら、PRESET MEMORY ボタンの [10] を押します。設定が行われると PRESET MEMORY ボタンの [45] が点灯します。
設定を解除するには、再び MENU/LIMIT ボタンを押しながら PRESET MEMORY ボタンの [10] を押します。
設定が解除されると PRESET MEMORY ボタンの [50] が点灯します。
- ④ 上端を設定するときは、PAN/TILT レバーで回転台を設定したい上端まで回転させます。
MENU/LIMIT ボタンを押しながら、PRESET MEMORY ボタンの [15] を押します。設定が行われると PRESET MEMORY ボタンの [45] が点灯します。
設定を解除するには、再び MENU/LIMIT ボタンを押しながら PRESET MEMORY ボタンの [15] を押します。
設定が解除されると PRESET MEMORY ボタンの [50] が点灯します。
- ⑤ 下端を設定するときは、PAN/TILT レバーで回転台を設定したい下端まで回転させます。
MENU/LIMIT ボタンを押しながら、PRESET MEMORY ボタンの [20] を押します。設定が行われると PRESET MEMORY ボタンの [45] が点灯します。
設定を解除するには、再び MENU/LIMIT ボタンを押しながら PRESET MEMORY ボタンの [20] を押します。
設定が解除されると PRESET MEMORY ボタンの [50] が点灯します。

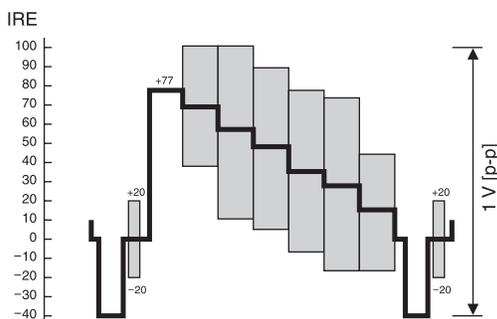
操作の手順

- ⑥ ロールユニットの左回り方向端を設定するときは、ROTAITION スイッチでロールユニットを設定したい左回り方向端まで回転させます。
MENU/LIMIT ボタンを押しながら、PRESET MEMORY ボタンの [25] を押します。設定が行われると PRESET MEMORY ボタンの [45] が点灯します。
設定を解除するには、再び MENU/LIMIT ボタンを押しながら PRESET MEMORY ボタンの [25] を押します。設定が解除されると PRESET MEMORY ボタンの [50] が点灯します。
- ⑦ ロールユニットの右回り方向端を設定するときは、ROTAITION スイッチでロールユニットを設定したい右回り方向端まで回転させます。
MENU/LIMIT ボタンを押しながら、PRESET MEMORY ボタンの [30] を押します。設定が行われると RESET MEMORY ボタンの [45] が点灯します。
設定を解除するには、再び MENU/LIMIT ボタンを押しながら PRESET MEMORY ボタンの [30] を押します。設定が解除されると PRESET MEMORY ボタンの [50] が点灯します。

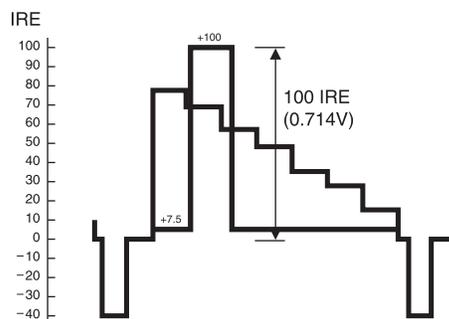
■それぞれのカメラのケーブル補償を行う

ケーブル補償器 (AW-RC400) で調整します。

- ① AW-RC400 の映像出力コネクタにウェーブフォームモニターを接続し、対応する映像入力コネクタへの入力信号を、カラーバー信号に設定します。
- ② ウェーブフォームモニターを H レートに設定し (下図参照)、波形の立ち上がり、立ち下り部を観測しながら、なまりやオーバーシュートが最も少ない点に、ケーブル長設定スイッチを設定します。この時、Y LEVEL ボリュームと F RESPONSE ボリュームはセンターにしておいてください。
- ③ F RESPONSE ボリュームを回し、立ち上がり、立ち下り部の波形のなまりやオーバーシュートが最小になるように調整します。このボリューム調整範囲を外れる場合は、ケーブル長設定スイッチの設定を見直してください。
- ④ 次に、Y LEVEL ボリュームで、所定の映像レベルになるように調整します。
- ⑤ コンポーネント信号の場合は、まず Y 信号をコンポジット信号同様、ウェーブフォームモニターで観測しながら、ケーブル長設定スイッチ、F RESPONSE ボリューム、Y LEVEL ボリュームで規定の映像信号になるよう、ケーブル補償調整します。
- ⑥ 次に、Y、Pr、Pb 信号全体を見渡して、ケーブル補償が最良となるように、F RESPONSE ボリューム、Y LEVEL ボリュームを再度調整します。
- ⑦ Y/C 信号の場合もコンポーネント信号同様、まず Y 信号を調整し、Y、C 両方の信号を見渡して、ケーブル補償が最良となるように調整します。



ウェーブフォームモニター
(コンポジット)



ウェーブフォームモニター
(コンポーネント)

操作の手順

■それぞれのカメラの G/L (ゲンロック) 調整を行う

G/L (ゲンロック) 調整については、リモートオペレーションパネル (AW-CB400) または、リモートコントロールボックス (WV-CB700A) の取扱説明書をご参照ください。

■カメラの映像調整

カメラのトータルペダスタル (黒レベル)、ホワイトバランス、ブラックバランスなどの調整を行います。カメラの調整は、リモートオペレーションパネル (AW-CB400) または、リモートコントロールボックス (WV-CB700A) の取扱説明書をご参照ください。

■トレーシングメモリーの設定

回転台コントローラー (AW-RP400) で設定します。

AW-RP400 には、回転台システムが動作する軌跡を登録する、トレーシングメモリー機能があります。トレーシングメモリーは、TRACING MEMORY ボタンの 1 ~ 10 に登録します。

記録時間とメモリー数の設定

- ① CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを選択します。
- ② メニュー設定「MEMORY LENGTH」でトレーシングメモリーの記録時間とメモリー数を設定します。

MEMORY LENGTH	設定内容
60s	60 秒× 10 メモリー (ボタン 1 ~ 10)
120s	120 秒× 5 メモリー (ボタン 1 ~ 5)
300s	300 秒× 2 メモリー (ボタン 1 ~ 2)
600s	600 秒× 1 メモリー (ボタン 1)

- トレーシングメモリーがすでに登録されているときは、「MEMORY LENGTH」を設定することはできません。設定しなおす場合は、登録済みのトレーシングメモリーを消去してから行ってください。
 - 記録時間とメモリー数は、登録するボタン毎に設定を変えることはできません。
- ③ CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを切り換え、回転台システム毎に、記録時間とメモリー数を設定します。

トレーシングメモリーの登録

- ① CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを選択します。
カメラの制御にリモートオペレーションパネル (AW-CB400) を使用している場合は、AW-CB400 でも同じ番号を選択します。
- ② トレーシングメモリー開始時点の回転台・カメラの状態設定を行います。
 - PAN/TILT/ZOOM/FOCUS で、画角とフォーカスを決定します。
 - IRIS [AUTO/MANUAL/LOCK] ボタンでオートアイリスかマニュアルアイリスかまたはマニュアルロックを選択します。
 - マニュアルアイリスの場合は、IRIS ダイアルで絞りを調整します。
 - カメラコントローラーで、黒レベル、ブラックバランス、ホワイトバランスを調整します。

操作の手順

- ③ START POINT ボタンを押します。
TRACING MEMORY ボタン 1 ~ 10 のうち登録できるボタンが点灯します。
 - メニュー設定「MEMORY LENGTH」で設定したメモリー数以上の番号ボタンは点灯しません。
 - 設定可能なメモリー数の中で消灯しているボタンは、すでに登録されているボタンです。このボタンに登録する場合は、一度メモリーを消去してから登録してください。
- ④ 登録するボタンの番号を押します。
押したボタンだけが点灯し、START ボタンが点滅します。このときの回転台の位置およびカメラの設定状況をトレーシングメモリーの開始位置として記録します。
 - この時点で STOP ボタンを押すと、トレーシングメモリーの登録をキャンセルします。
- ⑤ START ボタンを押します。
START ボタンが点滅から消灯に変わり、記録待機状態になります。
 - この時点で STOP ボタンを押すと、トレーシングメモリーの登録をキャンセルします。
- ⑥ PAN/TILT/ZOOM/FOCUS のいずれかを動かした時点でトレーシングメモリーの記録を開始しますので、登録する操作を行ってください。
START ボタンの点滅から STOP ボタンの点滅に変わり、メモリーできる時間の目安として、PRESET MEMORY ボタンの No.1 ~ 10 のボタンひとつが約 6 秒を表し、No.11 ~ 30 のボタンひとつが約 60 秒を表します。
No.10 のボタンから約 6 秒ごとに消灯していき、記録可能なメモリーの残り時間を表示します。すべてのボタンが消灯して時点で、ブザーが鳴り、トレーシングメモリーの登録が終了します。
 - トレーシングメモリーの記録を中断する場合は、STOP ボタンを押します。
中断した時点までの操作がトレーシングメモリーとして登録されます。
 - ブザーはトレーシングメモリーの記録開始、中断、終了時に鳴ります。
- ⑦ 必要に応じて、TRACING MEMORY ボタン 1 ~ 10 に登録します。
- ⑧ CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを切り換えて、それぞれの回転台システムでトレーシングメモリーを設定します。

トレーシングメモリーは、回転台、コントローラーそれぞれに情報が記録されます。回転台またはコントローラーを取り替えた場合は、トレーシングメモリーを登録し直してください。

トレーシングメモリーの再生

- ① CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを選択します。
- ② 再生するトレーシングメモリーが登録されているボタンを押します。
回転台システムがトレーシングメモリーに登録されている開始位置の状態になります。
- ③ 回転台システムがトレーシングメモリー開始位置の状態になり停止してから、再度、トレーシングメモリーが登録されているボタンを押すと、登録されているトレーシングメモリーの動作を開始します。
 - トレーシングメモリーの再生を中断する場合は、STOP ボタンを押します。
また、PAN/TILT/ZOOM/FOCUS のいずれかを動かすと、中断します。
 - ブザーはトレーシングメモリーの再生開始、中断、終了時に鳴ります。

操作の手順

トレーシングメモリーの修正

- ① CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを選択します。
カメラの制御にリモートオペレーションパネル (AW-CB400) を使用している場合は、AW-CB400 でも同じ番号を選択します。
- ② 修正するトレーシングメモリーが登録されているボタンを押し、開始位置を呼び出します。
- ③ RESTORE ボタンを押します。
回転台システムが登録されているトレーシングメモリーの動作を開始し、STOP ボタンが点滅します。
また、登録時と同様に PRESET MEMORY ボタン 1 ~ 30 が、時間の目安として機能します。
- ④ トレーシングメモリーの動作を修正します。
 - トレーシングメモリーの動作を部分的に修正することはできません。修正した時点から最後まで登録し直してください。
- ⑤ PRESET MEMORY ボタンがすべて消灯した時点で、ブザーが鳴り、トレーシングメモリーの修正が終了します。

トレーシングメモリーの消去

- ① CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを選択します。
- ② RESET ボタンを押します。
トレーシングメモリーが登録されているボタン (TRACING MEMORY 1 ~ 10 ボタン) が点灯します。
- ③ 消去したい番号のボタンを押します。
ボタンが消灯し、トレーシングメモリーが消去されます。

■プリセットメモリーの設定

回転台コントローラー (AW-RP400) で設定します。

AW-RP400 には、回転台システムが撮影する位置と設定を登録するプリセットメモリー機能があります。
プリセットメモリーは、PRESET MEMORY ボタンの 1 ~ 50 に登録します。

プリセットメモリーの登録

- ① CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを選択します。
- ② 回転台・カメラの状態設定を行います。
 - PAN/TILT/ZOOM/FOCUS で、画角とフォーカスを決定します。
 - IRIS [AUTO/MANUAL/LOCK] ボタンでオートアイリスかマニュアルアイリスを選択します。
 - マニュアルアイリスの場合は、IRIS ダイアルで絞りを調整します。
 - カメラコントローラーで、黒レベル、ブラックバランス、ホワイトバランスを調整します。
- ③ MEMORY ボタンを押しながら、プリセットメモリーを登録するボタン (PRESET MEMORY 1 ~ 50) を押します。
- ④ 必要に応じて、他の撮影位置と設定をプリセットメモリーとして、PRESET MEMORY ボタン 1 ~ 50 に登録します。
- ⑤ CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを切り換え、それぞれの回転台システムでプリセットメモリーを設定します。

操作の手順

プリセットメモリーの再生

- ① CONTROL SELECT ボタンで回転台システムを選択します。
- ② プリセットメモリーが登録されているボタンを押すと、回転台システムが登録されている状態になります。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お
買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読
みのあと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、この屋内回転台／回転台コントローラー／
ケーブル補償器／ロールユニットの補修用性能部品を、
製造打ち切り後8年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する
ために必要な部品です。

■修理を依頼されるとき

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連
絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	屋内回転台／回転台コントローラー／ ケーブル補償器／ロールユニット
品番	AW-PH400/AW-RP400N/ AW-RC400N/AW-RL400G
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご要望によ
り修理させていただきます。下記修理料金の仕組み
をご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成さ
れています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・
調整・修理完了時の点検などの作業に
かかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代
です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所
へ技術者を派遣する場合の費用です。